

就学児童用調査の結果概要



回答家庭のプロフィール

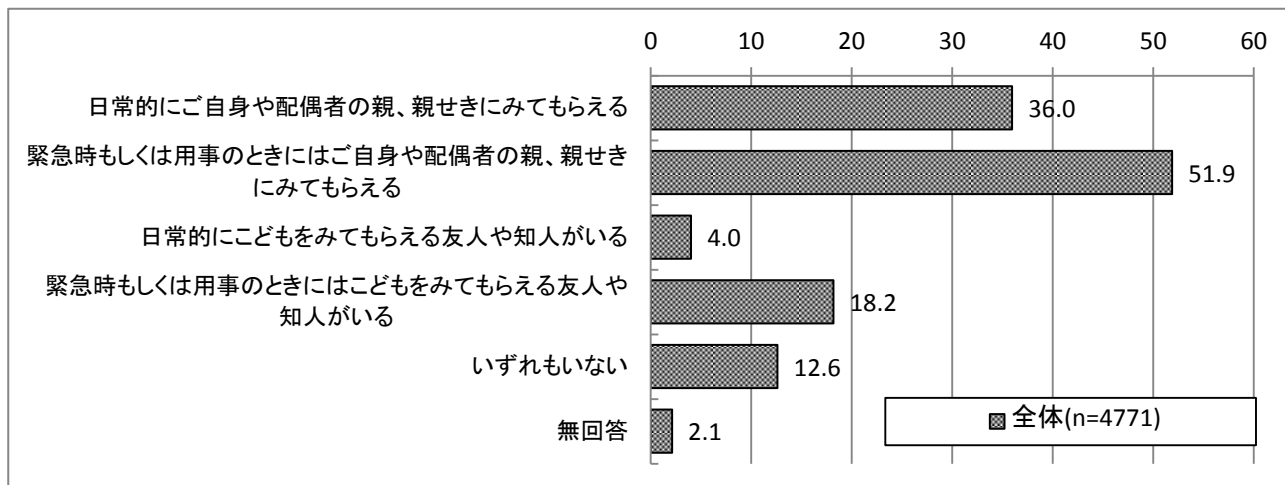
- ・ あて名のこどもの年齢(平成24年4月1日基準)は、1年生(6歳)、2年生(7歳)、3年生(8歳)で三分され、偏りが無い。また、末子の年齢(平成24年4月1日基準)についても1年生(6歳)から3年生(8歳)までで34.3%を占めている。
- ・ あて名のこどもも含めたこどもの数は、2人が51.6%と最も多く、次いで3人が24.4%、1人が17.4%の順となっている。また、もっともこどもの多い家庭は8人である。
- ・ 家族との同居・近居の状況では、86.0%が父母と同居しており、父親又は母親とのひとり親家庭の占める割合は12.0%となっている。また、祖父と同居が4.8%、祖母と同居が7.7%、祖父と近居が29.5%、祖母と近居が38.9%の状況となっている。
- ・ あて名のこどもの身の回りの世話などを主にしている人は、母親が61.3%と多数を占め、次いで父母ともに33.3%の順になっている。

1. すべての方に、封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についておうかがいします。

問6 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号に○をつけてください。
(複数回答可)

・「緊急時もしくは用事的时候にはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」という家庭が51.9%と半数を占め、「日常にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が36.0%、「緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人や知人がいる」が18.2%の順となっている。これに対し「いずれもない」との回答は12.6%であった。

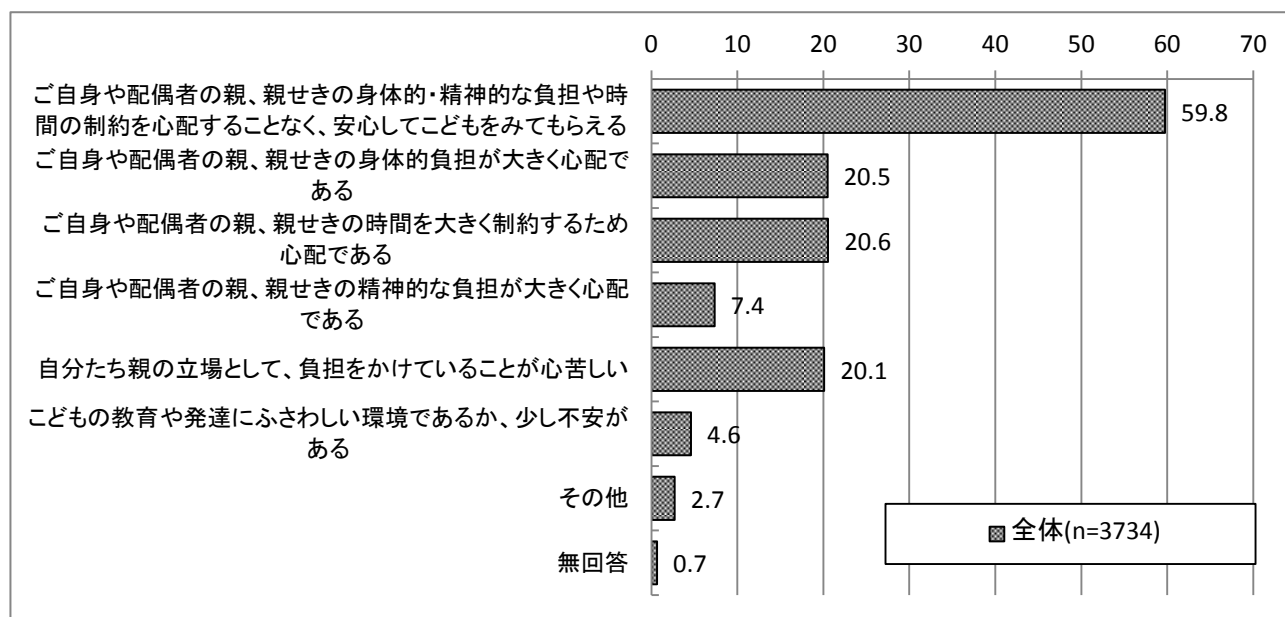
・ 子どもの預け先の状況



問6-1 問6で「1.」または「2.」を選ばれた、お子さんをご自身や配偶者の親、親せきにみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

・「ご自身や配偶者の親、親せきの身体的・精神的な負担や時間の制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」という家庭が59.8%と過半数を占めている。

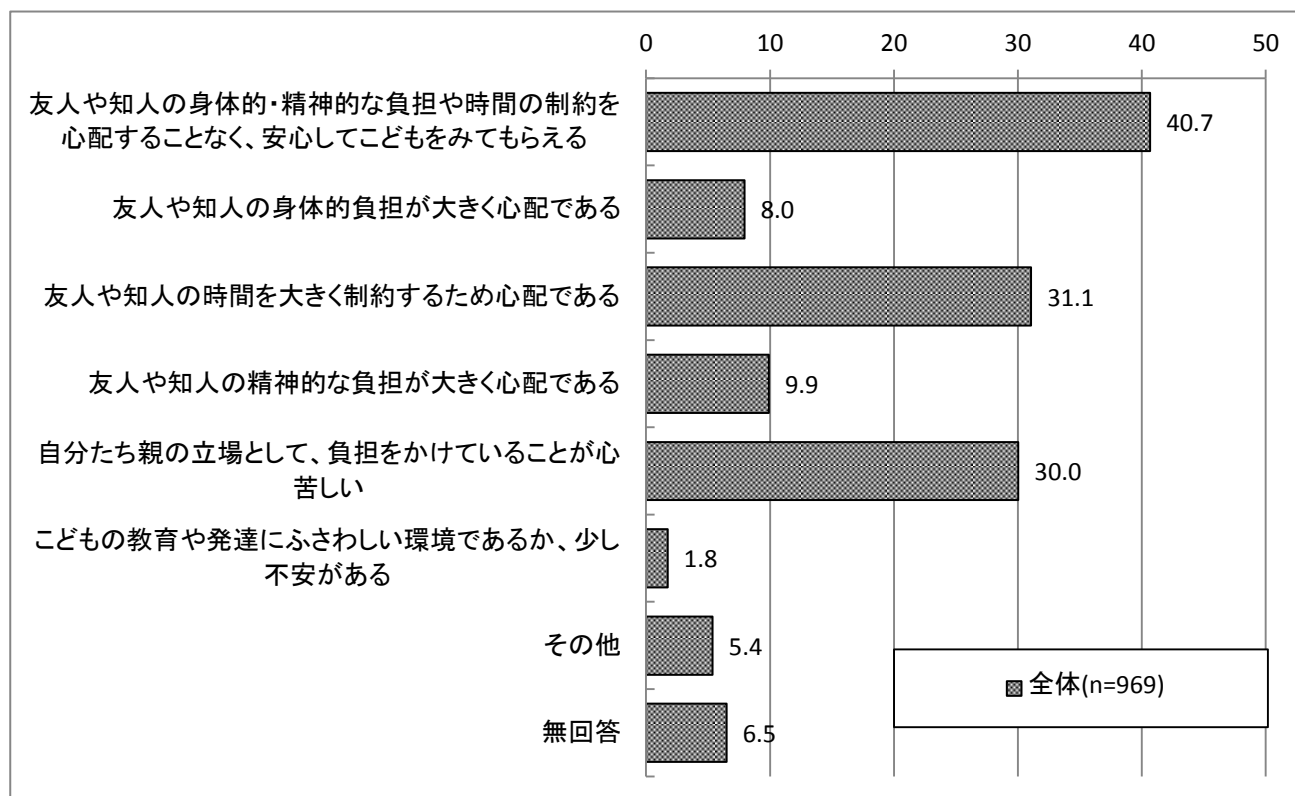
・ 祖父母や親せきに預ける際の状況



問6-2 問6で「3.」または「4.」を選ばれた、お子さんを友人や知人にみてもらっている方におうかがいします。こどもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

・「友人や知人の身体的・精神的な負担や時間の制約を心配することなく、安心してこどもをみてもらえる」という家庭が40.7%と半数近くを占めているが、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」との回答も30.0%と祖父母の場合と比べて多い。

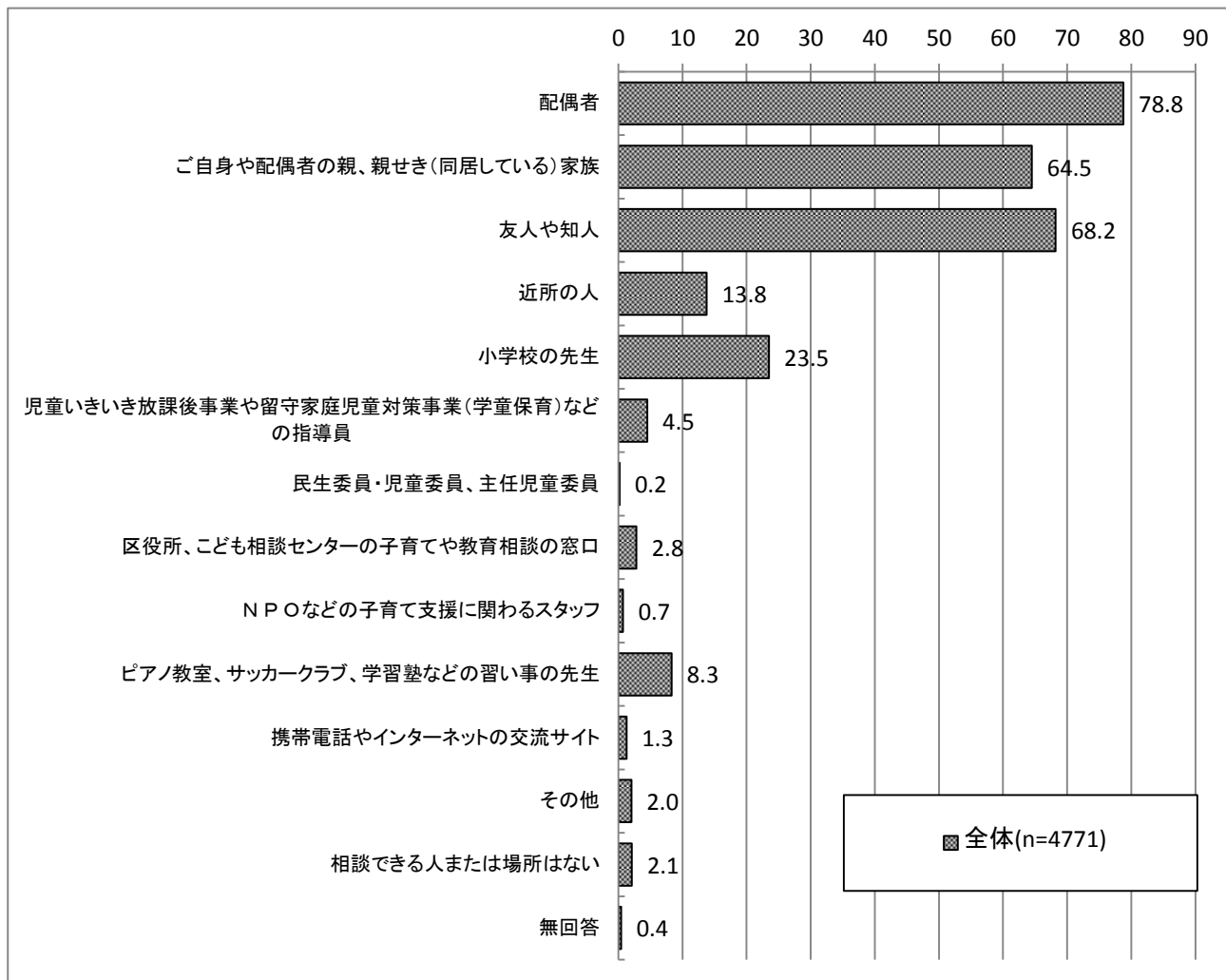
・友人・知人に預ける際の状況



問8 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

・「配偶者」が78.8%で最も多く、次いで「友人や知人」が68.2%、「ご自身や配偶者の親、親せき(同居している)家族」が64.5%、「小学校の先生」が23.5%、「近所の人」(13.8%)の順となっている。

・気軽に相談できる人や場所

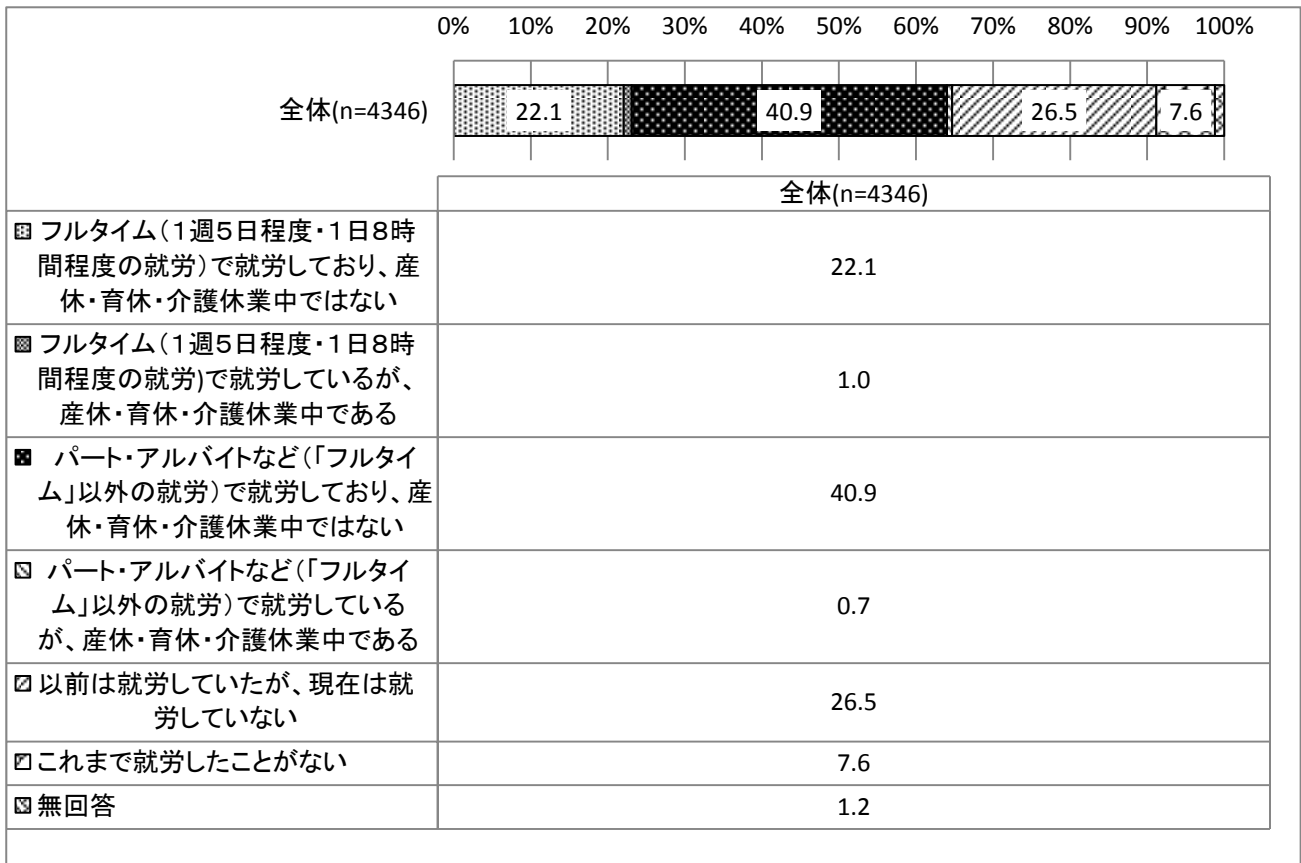


2. すべての方に、父親・母親の就労状況についておうかがいします

問9 「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください

- ・全体の回答数4,771件のうち、「パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が40.9%と最も多く、これに次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が26.5%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が22.1%などとなっている。

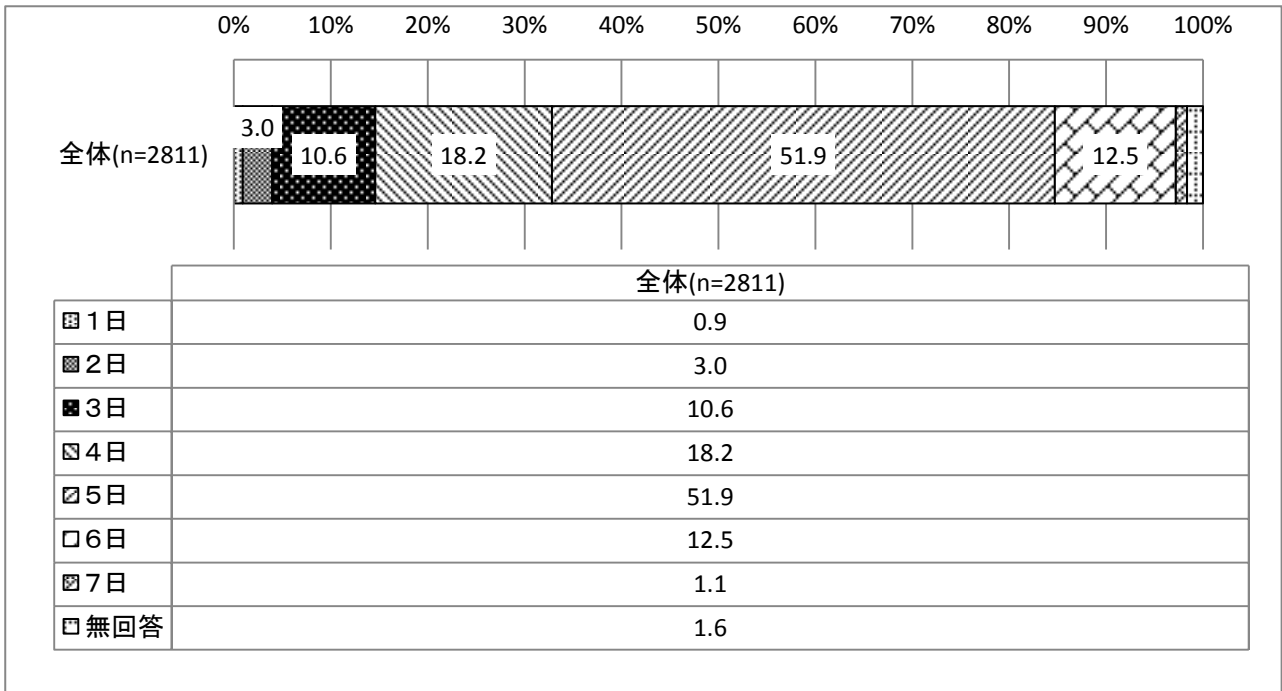
・「母親」の働いている状況



問9-1 問9で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

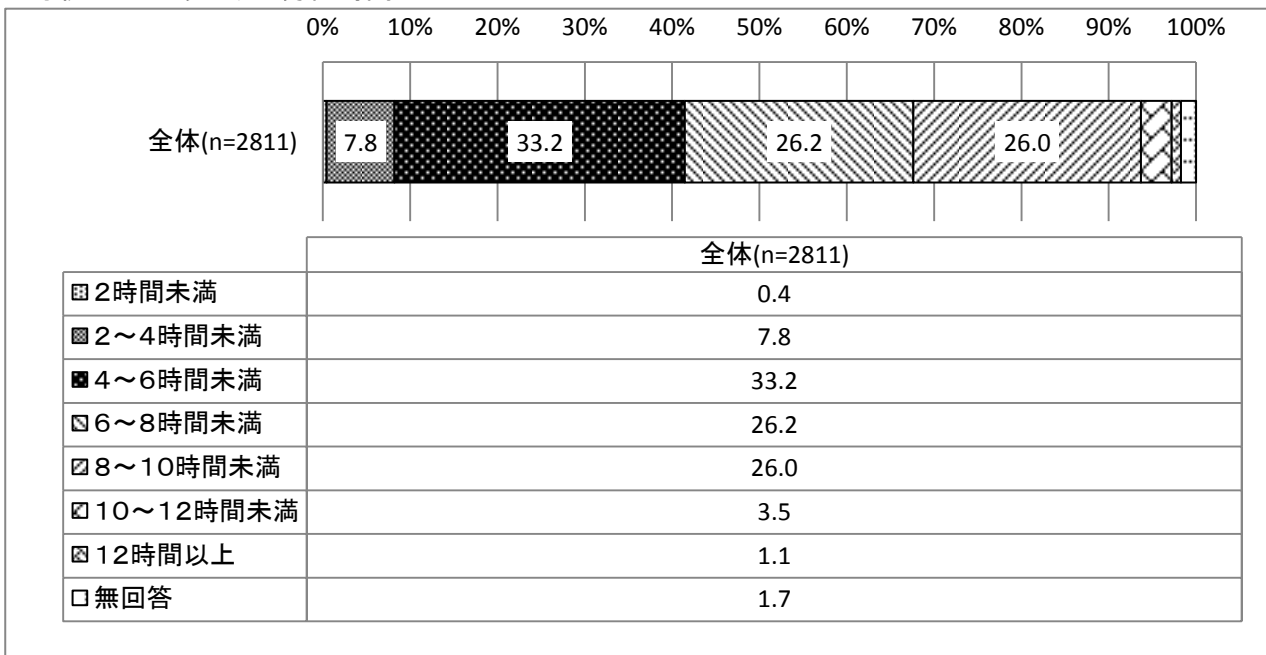
- ・1週間あたりの働く日数では、「5日」という回答が51.9%で過半数を占めた、これに次いで「4日」（18.2%）、「6日」（12.5%）、「3日」（10.6%）の順となっている。
- ・フルタイムで就労している母親の1週間あたりの就労日数では「5日」という回答が72.7%で多数を占めた、これに次いで「6日」（22.5%）等が続いている。
- ・パート・アルバイトなどで就労している母親の1週間あたりの就労日数では「5日」という回答が39.9%で多数を占めた、これに次いで「4日」（27.6%）、「3日」（16.3%）などが続いている。

・母親の1週間あたりの労働日数



- ・1日あたりの働く時間では、「4～6時間未満」という回答が33.2%で最も多い、これに次いで「6～8時間未満」(26.2%)、「8～10時間未満」(26.0%)とほぼ同じ割合が続いている。
- ・フルタイムで就労している母親の1日あたりの働く時間では「8～10時間未満」という回答が49.3%で最も多い、これに次いで「6～8時間未満」が15.4%が続いている。
- ・パート・アルバイトなどで就労している母親の1日あたりの働く時間では「4～6時間未満」という回答が20.2%で最も多い、これに次いで「6～8時間未満」が14.1%が続いている。

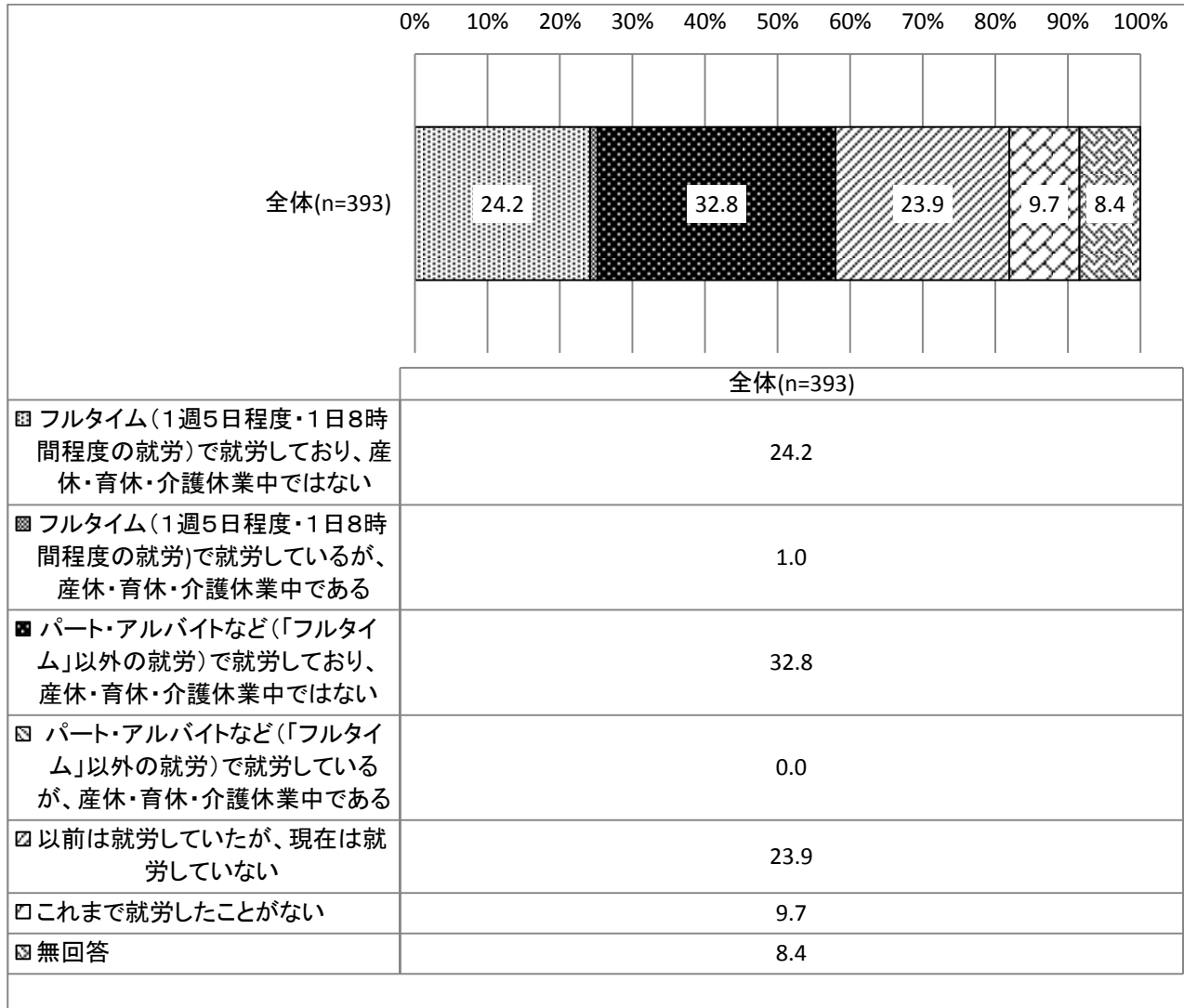
・母親の1日あたりの労働時間



問10 「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

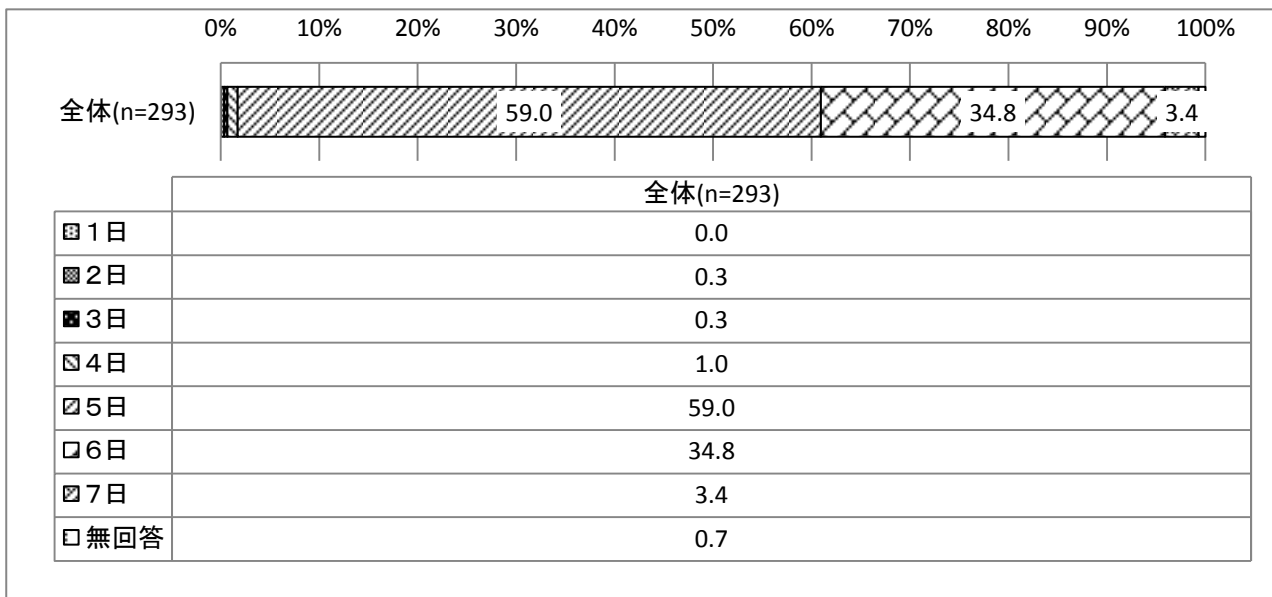
- ・「パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.8%と最も多く、これに次いで、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.9%などとなっている。

・「父親」の働いている状況

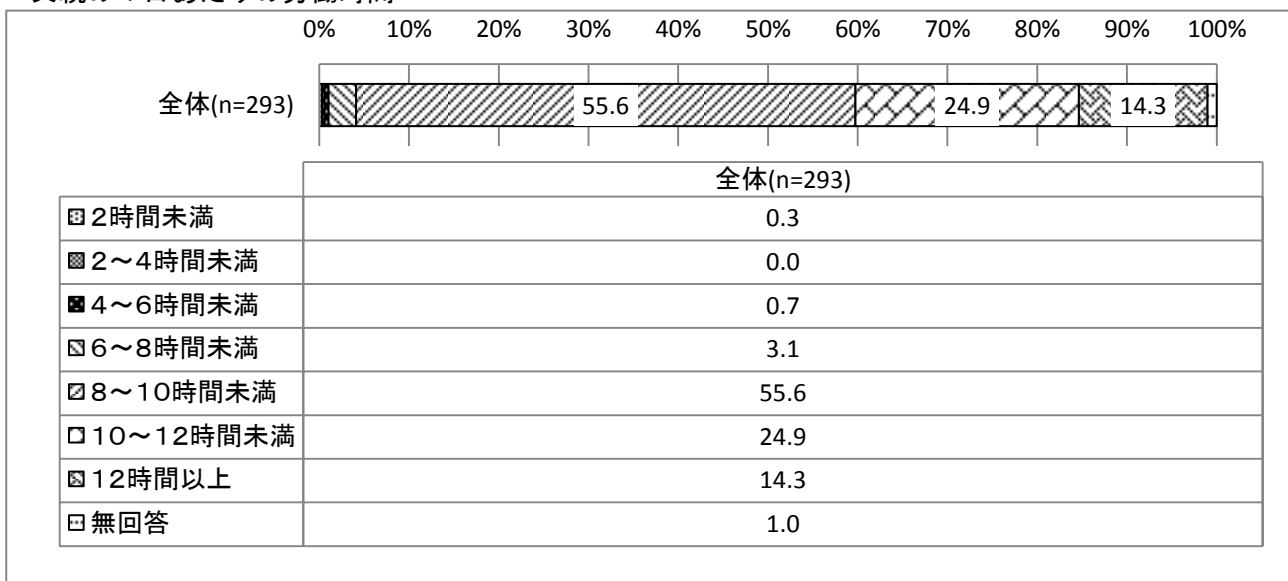


問10-1 問10で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

- ・1週間あたりの働く日数では、「5日」という回答が59.0%で過半数を占めた、これに次いで「6日」（34.8%）、「7日」（3.4%）の順となっている。
- ・フルタイムで就労している父親の1週間あたりの就労日数では「5日」という回答が59.9%で過半数を占めた、これに次いで「6日」（34.8%）等が続いている。
- ・パート・アルバイトなどで就労している父親の1週間あたりの就労日数では回答数が少ない為、記載を省略した。
- ・父親の1週間あたりの労働日数



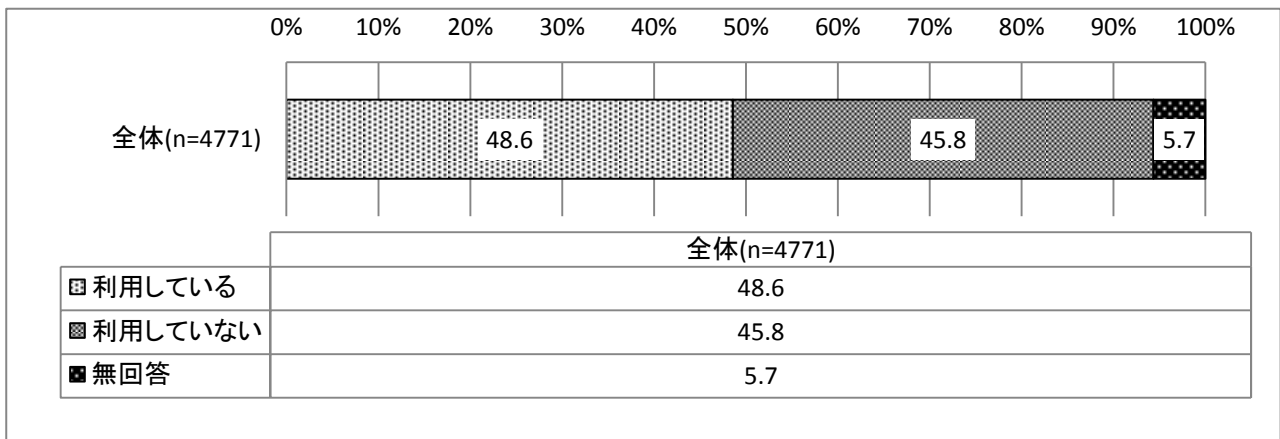
- ・1日あたりの働く時間では、「8～10時間未満」という回答が55.6%で最も多い、これに次いで「10～12時間未満」（24.9%）、「12時間以上」（14.3%）という割合が続いている。
- ・フルタイム（週5日程度）で就労している父親の1日あたりの働く時間では「8～10時間未満」という回答が49.3%で最も多い、これに次いで「10～12時間未満」が14.2%が続いている。
- ・パート・アルバイトなどで就労している父親の1日あたりの働く時間では回答数が少ない為、記載を省略した。
- ・父親の1日あたりの労働時間



3. すべての方に「放課後の居場所を提供する事業」の利用状況と今後の希望についておうかがいします

問14 あて名のお子さんについて、現在、「放課後の居場所を提供する事業」を利用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- ・全体の回答数4,771件のうち、あて名のこどもについて「放課後の居場所を提供する事業」を利用している家庭は48.6%で約半数を占め、利用していない家庭の45.8%よりやや多い。
- ・平日の事業・サービスの利用状況

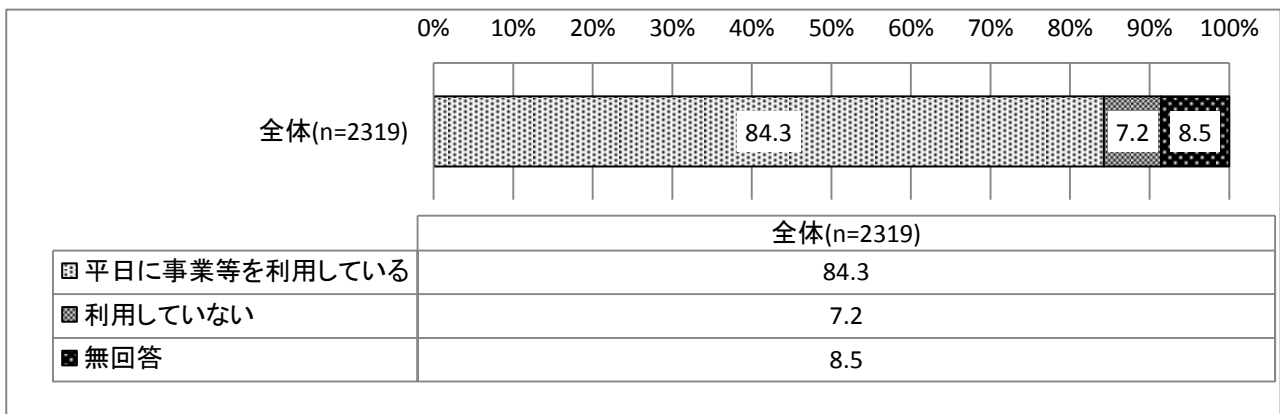


問14-1 問14で「1. 利用している」を選んだ方におうかがいします。

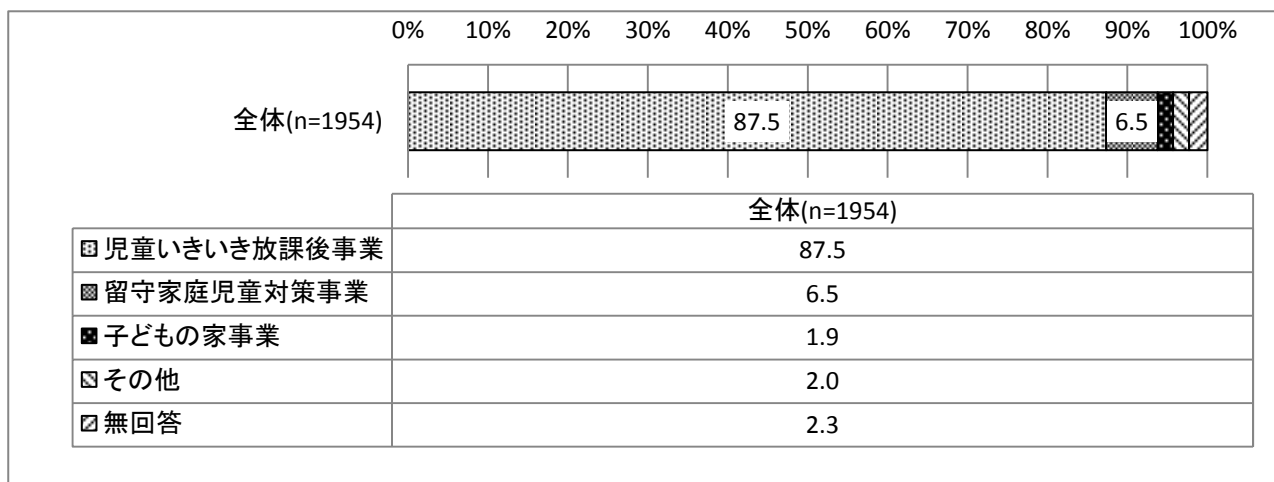
利用している事業やサービス名、利用状況、利用している時間帯を、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休業日のそれぞれについてご記入ください。複数の事業やサービスを利用している方は中心としているものを2つまでご記入ください。

- ・「放課後の居場所を提供する事業」を平日に利用している家庭が84.3%、長期休業日に利用している家庭が58.7%、土曜日に利用している家庭が22.6%となっている。
- ・利用している事業・サービスについては、平日、土曜日、長期休業日とも「児童いきいき放課後事業」が圧倒的多数を占めている。
- ・利用している事業・サービスについて週当たり、月あたりの利用頻度をみると、平日では「週1~3日利用している」が55.8%と過半数を占め、「週4日以上利用している」が35.2%となっている。

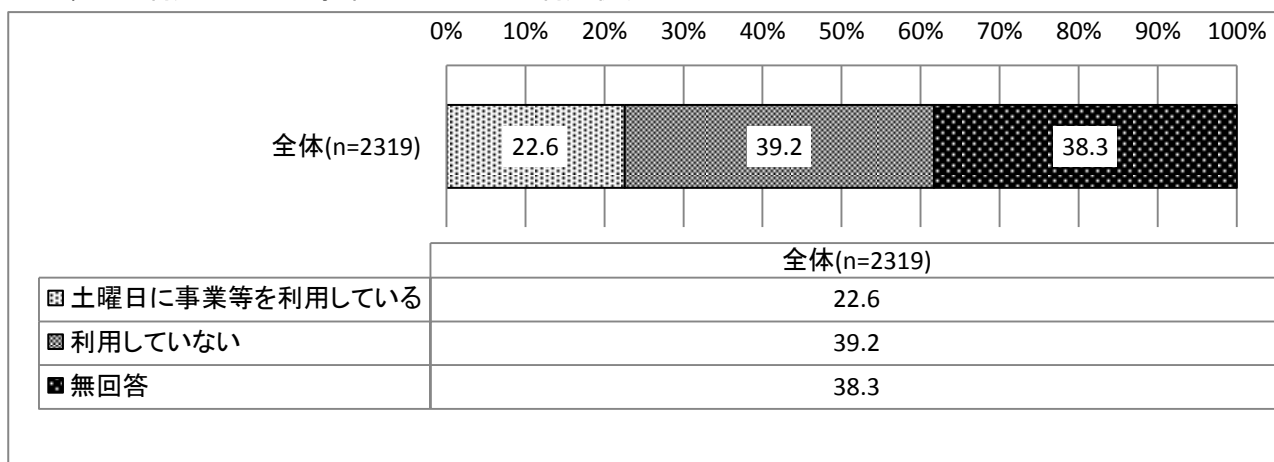
・平日の事業・サービスの利用状況



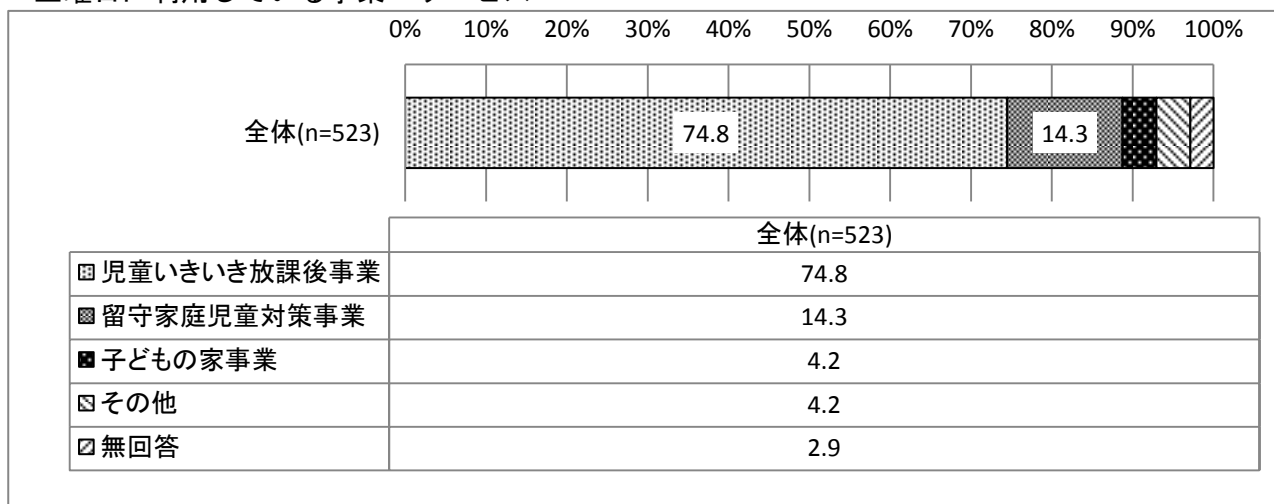
・平日に利用している事業・サービス



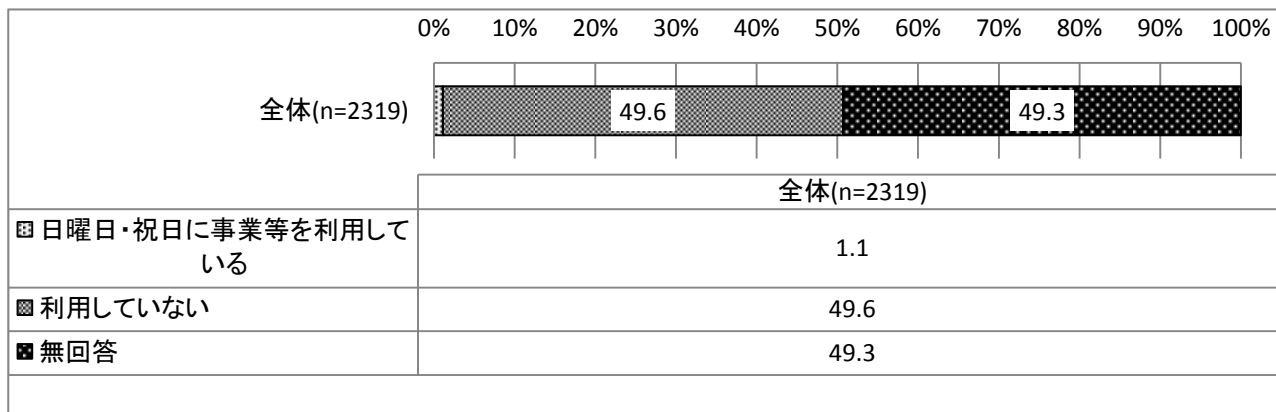
・土曜日に利用している事業・サービスの利用状況



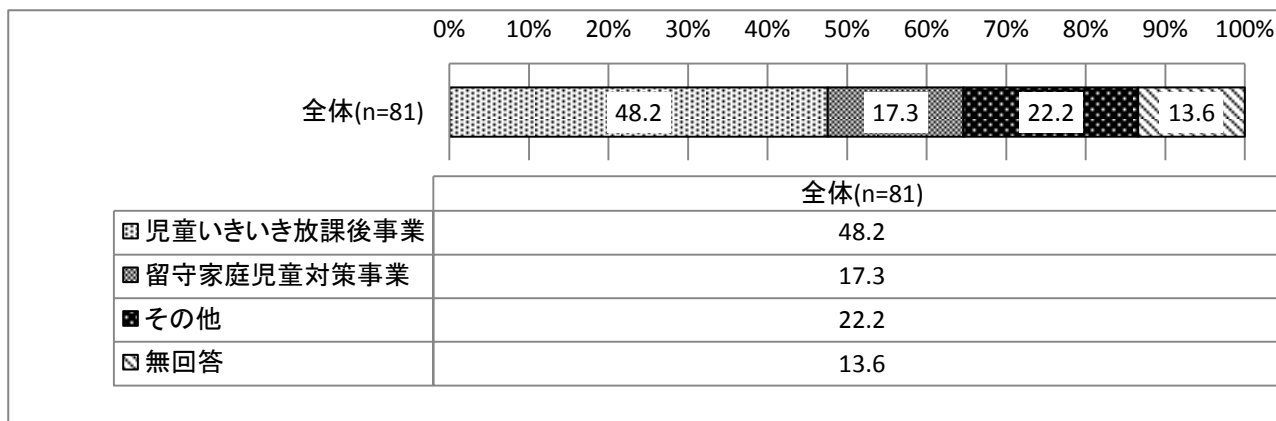
・土曜日に利用している事業・サービス



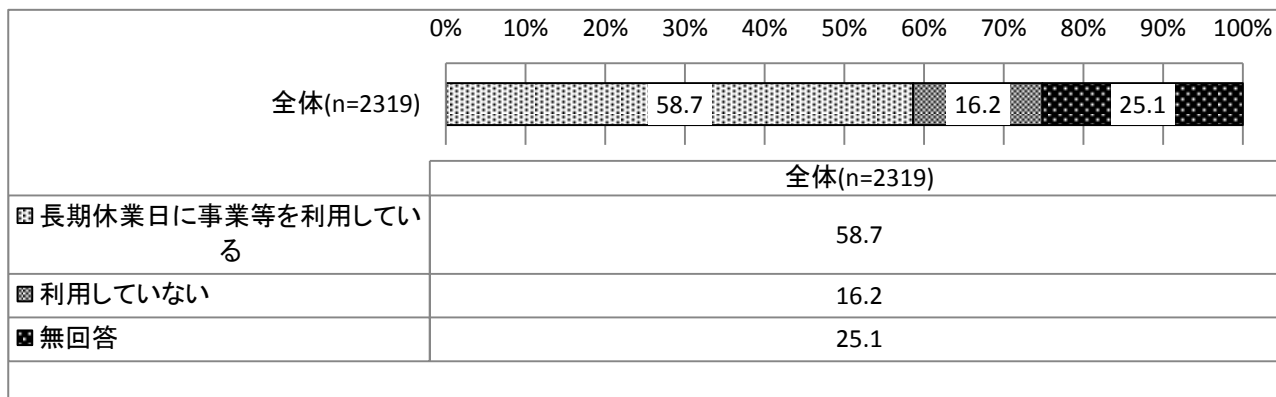
・日曜日・祝日に利用している事業・サービスの利用状況



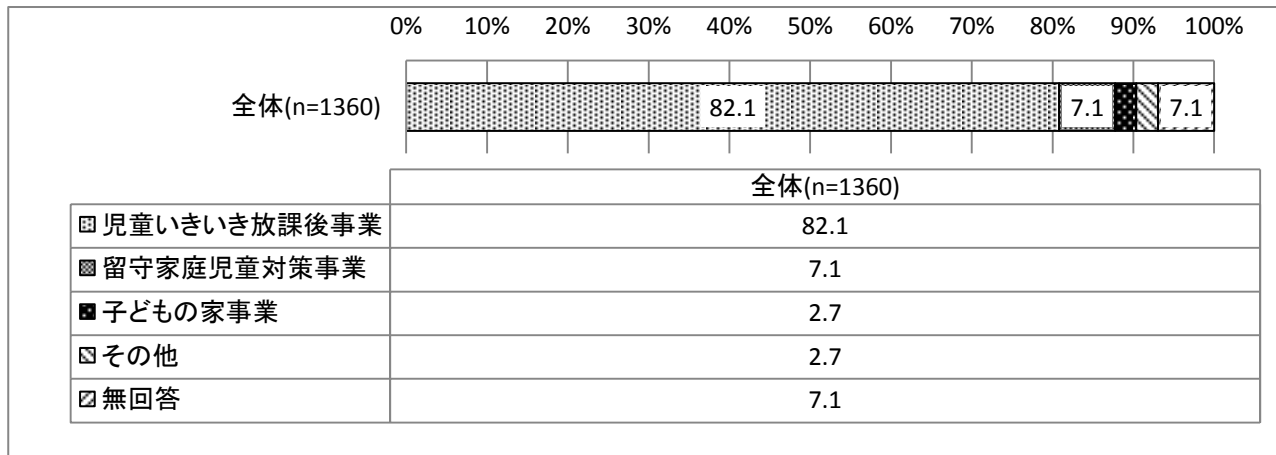
・日曜日・祝日に利用している事業・サービス



・長期休業日に利用している事業・サービスの利用状況



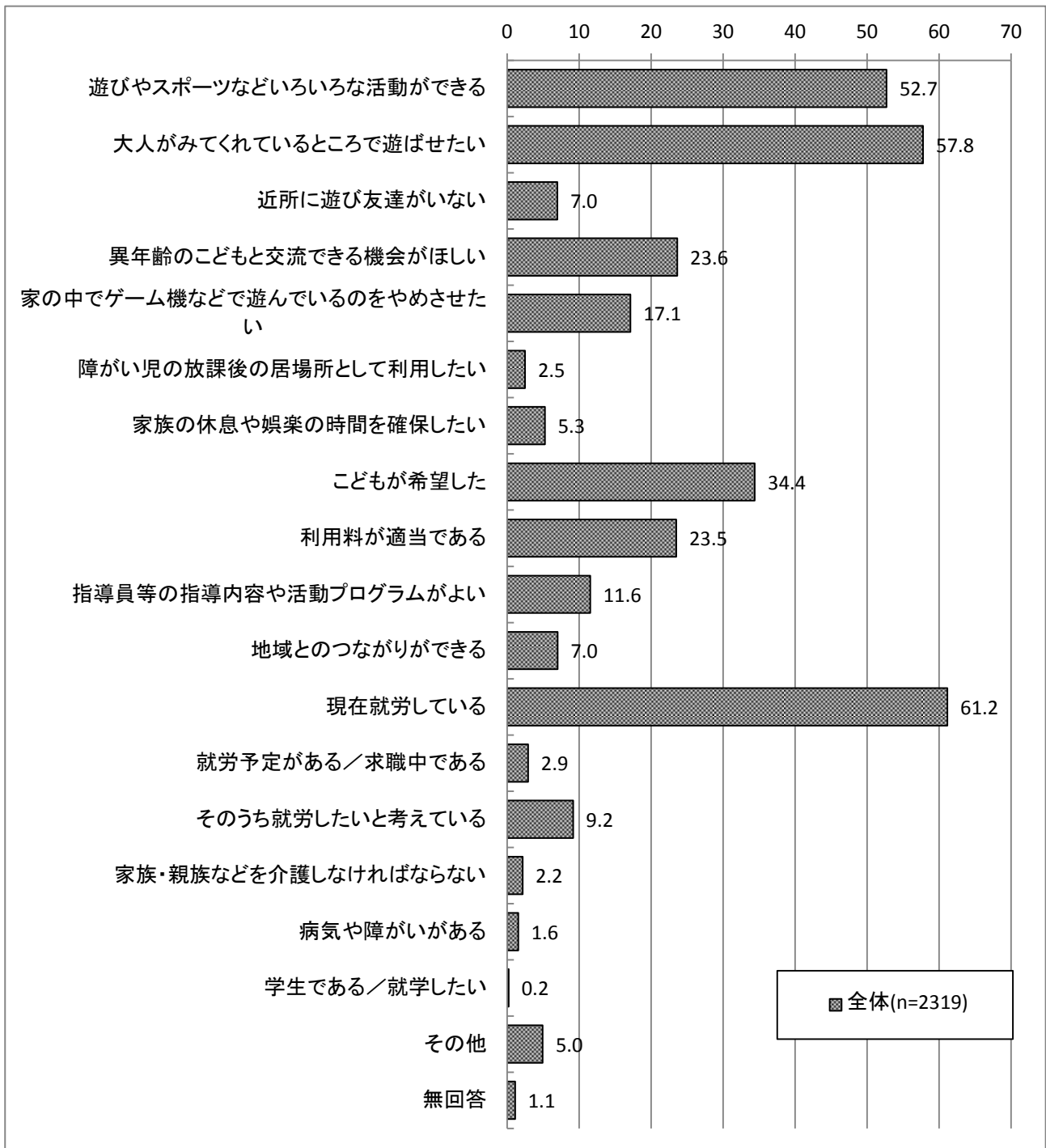
・長期休業日に利用している事業・サービス



問14-2 問14で「1. 利用している」を選んだ方におうかがいします。
 利用している理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「放課後の居場所を提供する事業」を利用している家庭にその理由を尋ねたところ、「現在就労している」が61.2%を占めて最も多く、次いで「大人がみてくれているところで遊ばせたい」が57.8%、「遊びやスポーツなどいろいろな活動ができる」が52.7%の順となっている。

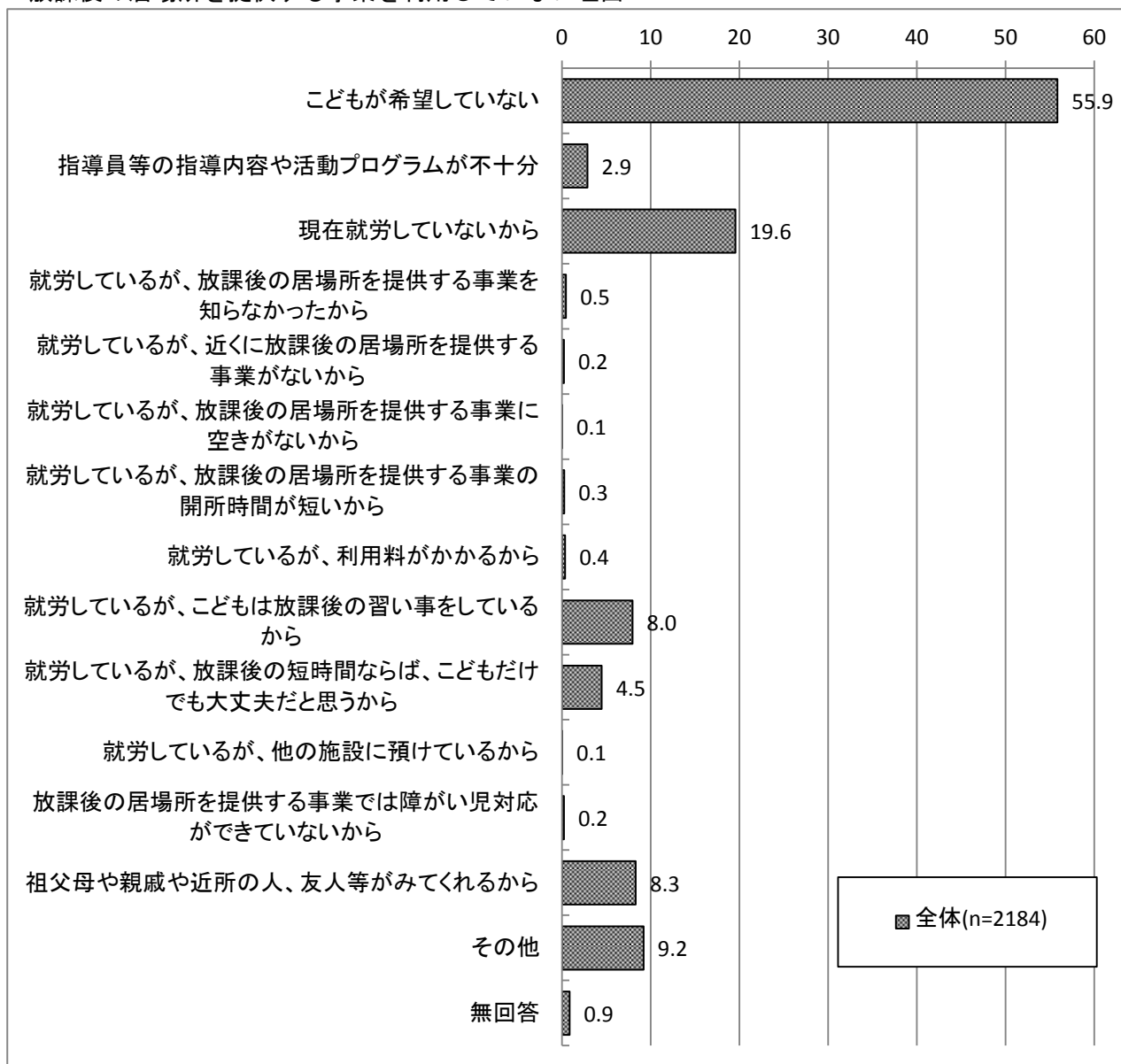
・放課後の居場所を提供する事業を利用する理由



問14-3 問14で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。
 利用していない理由について、もっともあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

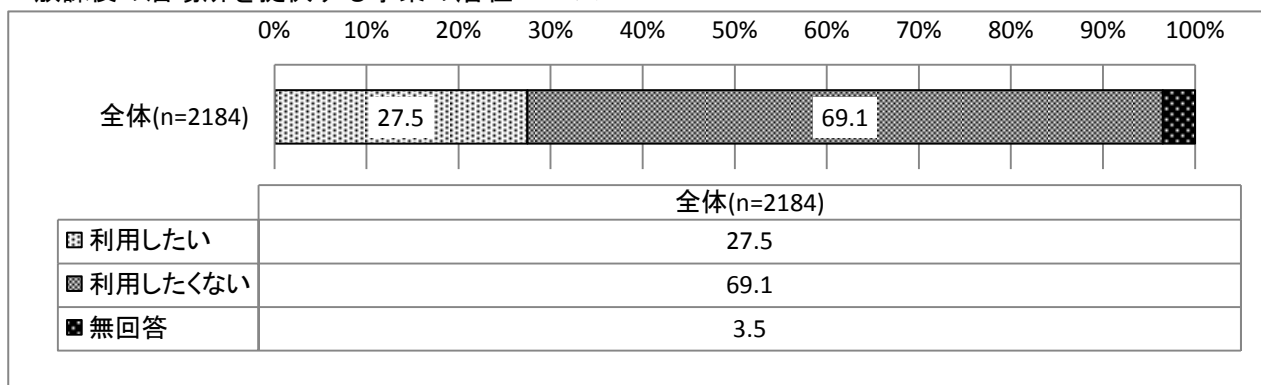
・「放課後の居場所を提供する事業」を利用していない家庭にその理由を尋ねたところ、「子どもが希望していない」が55.9%を占めて最も多く、次いで「現在就労していないから」が19.6%、「祖父母や親戚や近所の人、友人等がみてるから」が8.3%の順となっている。

・放課後の居場所を提供する事業を利用していない理由



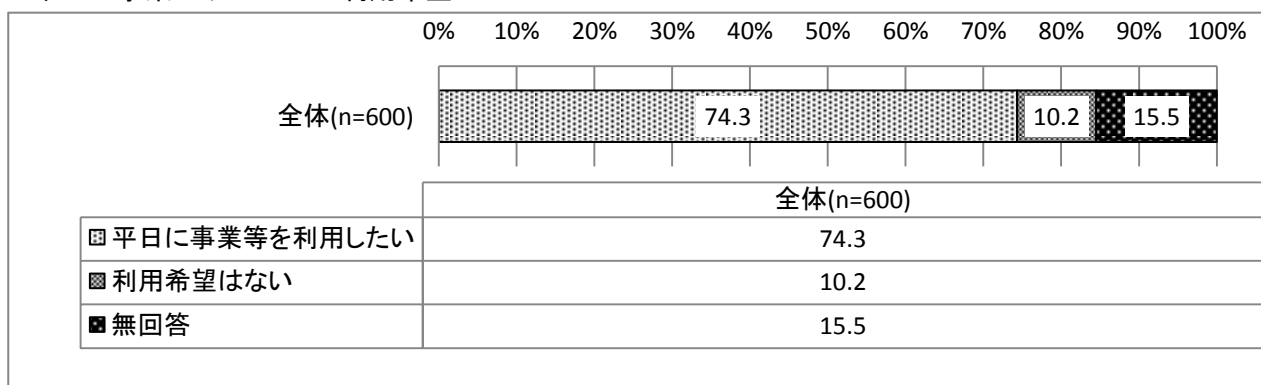
問14-4 問14で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします
 あて名のお子さんについて、今後、「放課後の居場所を提供する事業」を利用したいとお考えですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- ・「放課後の居場所を提供する事業」を利用していない家庭に今後の利用希望を尋ねたところ、27.5%の家庭が「利用したい」と答えている。
- ・放課後の居場所を提供する事業の潜在ニーズ

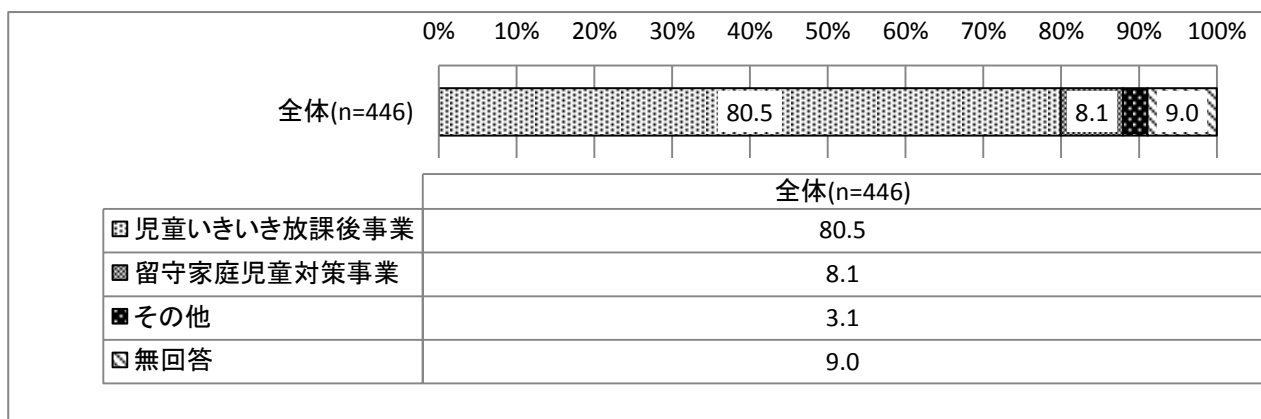


問14-5 問14-4で「1. 利用したい」を選ばれた方におうかがいします。
 利用を希望する事業やサービス名、利用頻度、希望する時間帯を、平日、土曜日、長期休業日のそれぞれについてご記入ください。

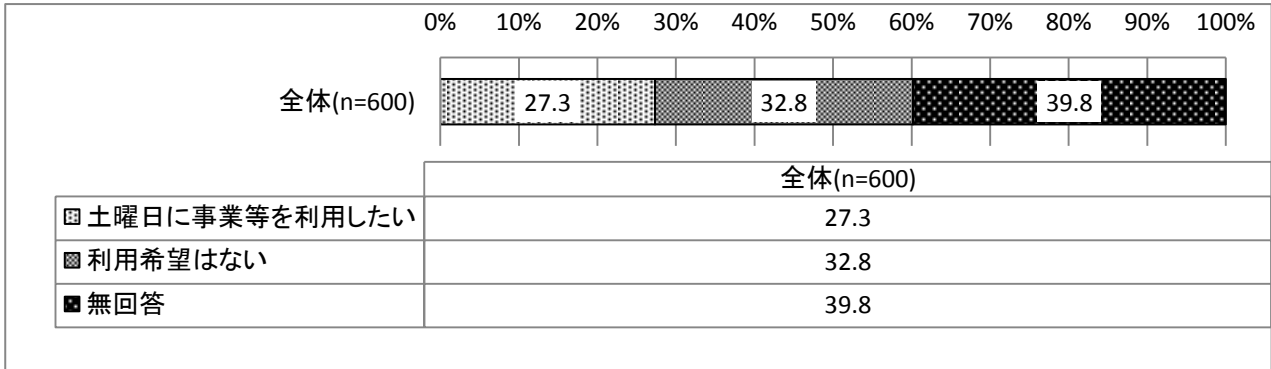
- ・「放課後の居場所を提供する事業」を今後利用したいと答えた家庭に利用したい日を尋ねたところ、平日が74.3%、土曜日が27.3%、長期休業日が55.5%となっている。
- ・利用したい事業・サービスについては、平日、土曜日、長期休業日とも「児童いきいき放課後事業」が圧倒的多数を占めている。
- ・平日の事業・サービスの利用希望



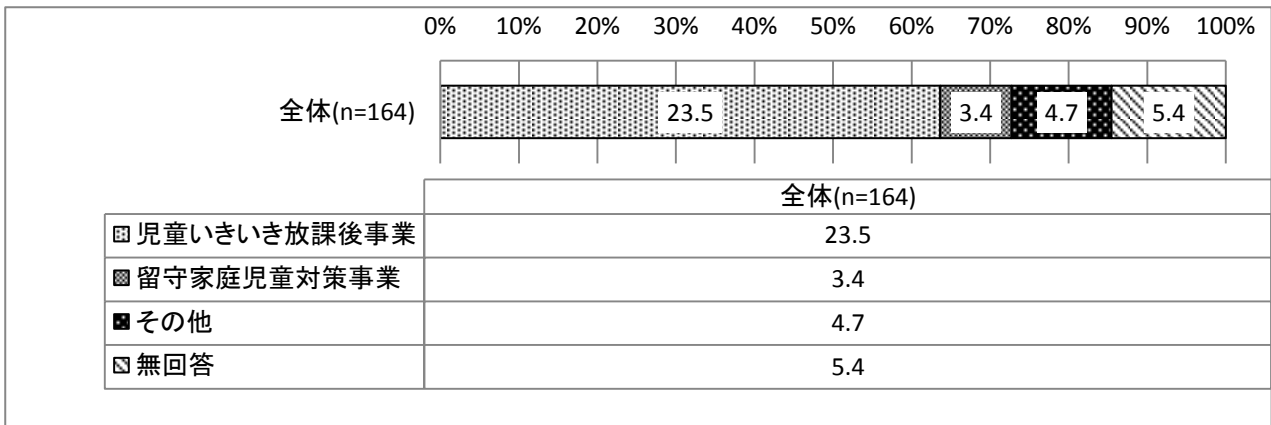
- ・平日に利用を希望する事業・サービス



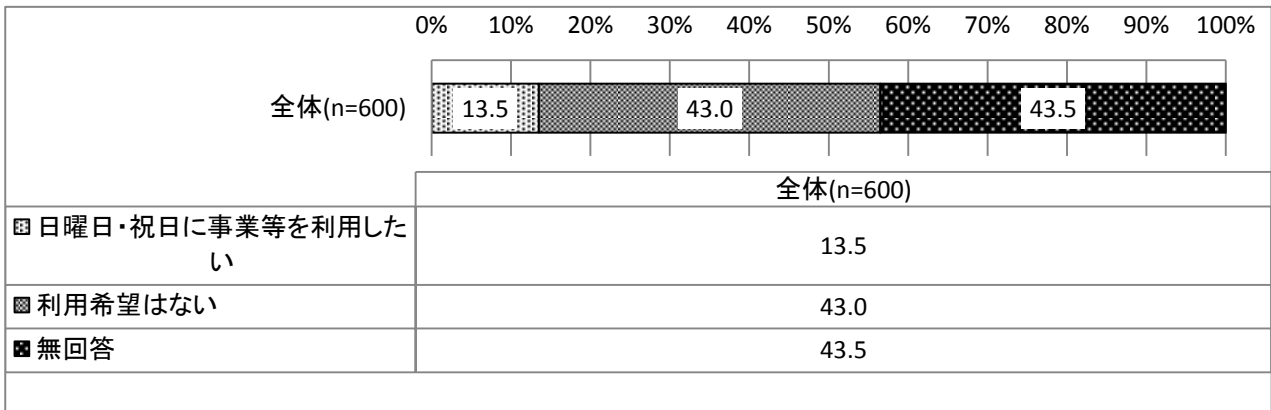
・土曜日の事業・サービスの利用希望



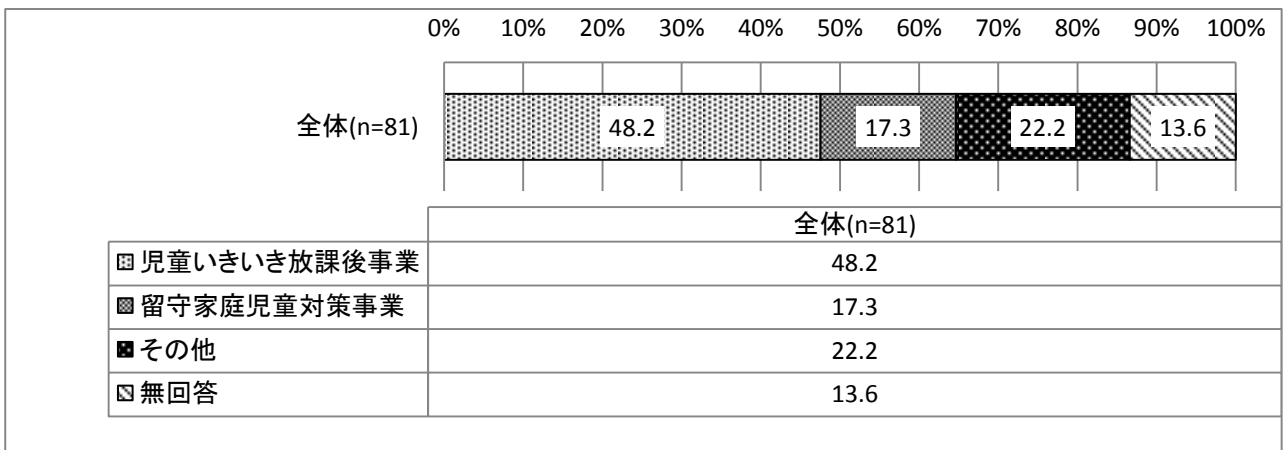
・土曜日に利用を希望する事業・サービス



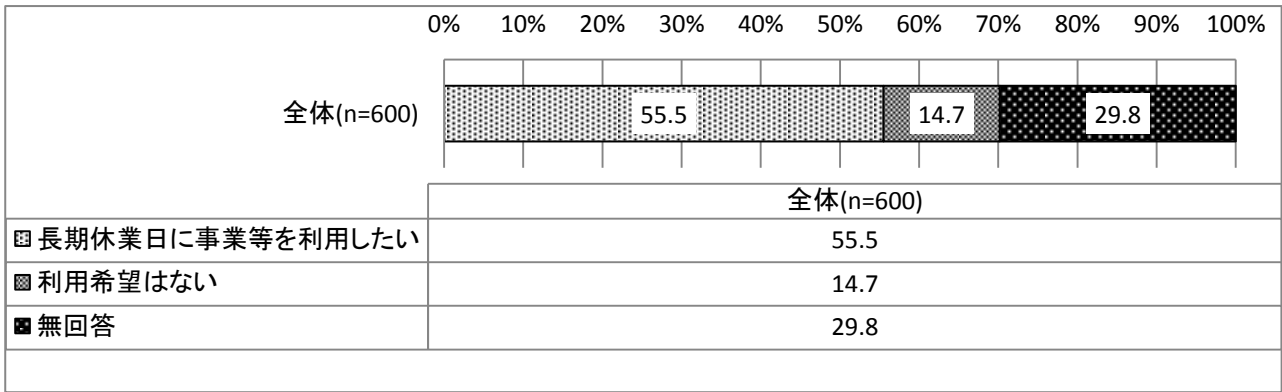
・日曜日・祝日の事業・サービスの利用希望



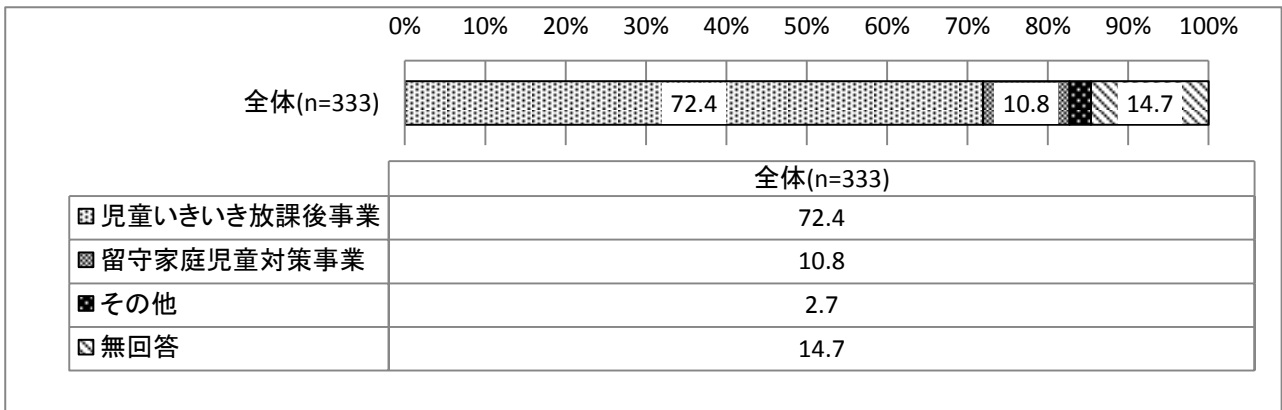
・日曜日・祝日に利用を希望する事業・サービス



・長期休業日の事業・サービスの利用希望



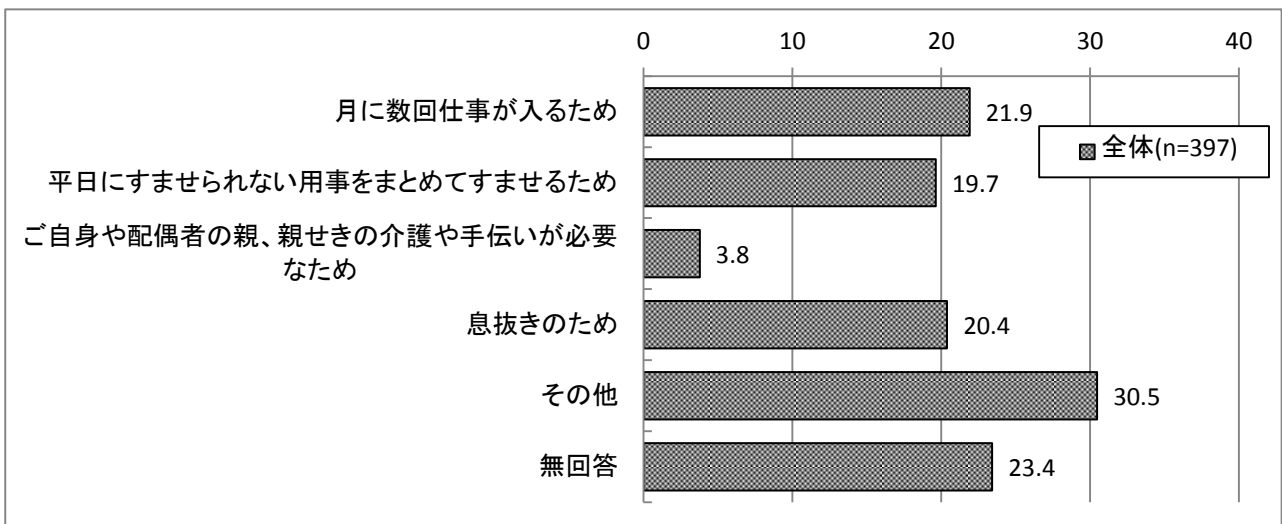
・長期休業日に利用を希望する事業・サービス



問14-6 問14-5の平日で「2. 週1～3日利用したい」および土曜日、日曜日・祝日、長期休業日で「2. 月に1～2日は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎日および毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

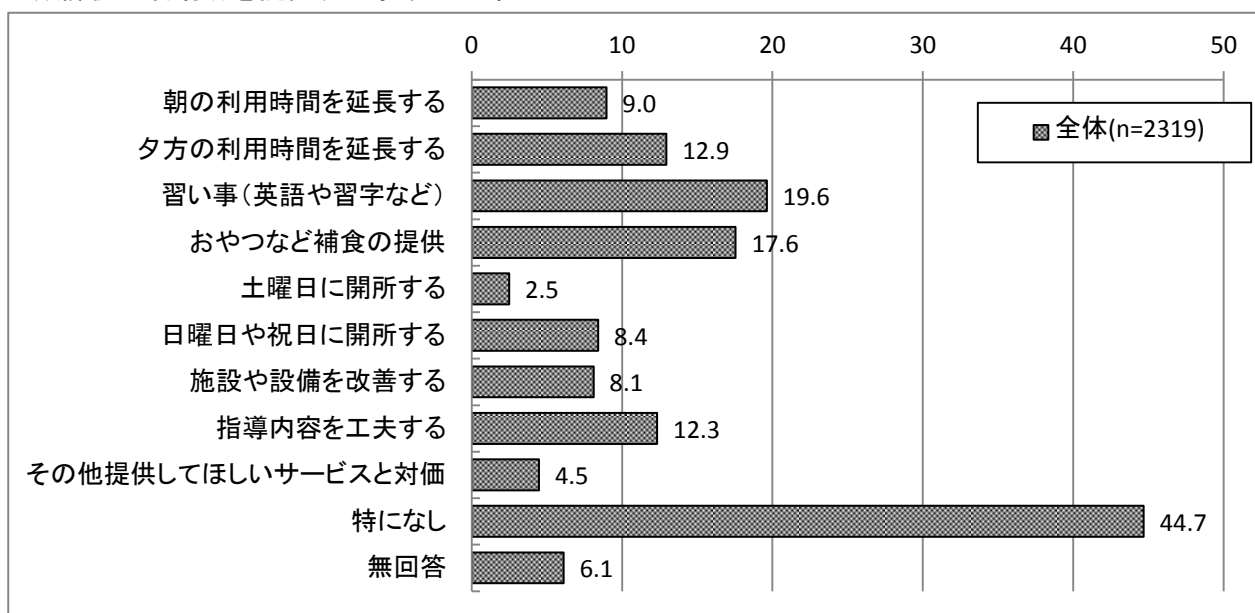
・「月に数回仕事が入るため」が21.9%で最も多く、「息抜きのため」(20.4%)、「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」(19.7%)と順に続いている。また、「その他」(30.5%)、「無回答」(23.4%)であった。

・たまに放課後の居場所を提供する事業を利用したい理由



問14-7 問14で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。現在利用している事業者にどのようなことを希望しますか。希望するサービス内容及び負担するに当たり妥当と思う金額についてご記入ください。

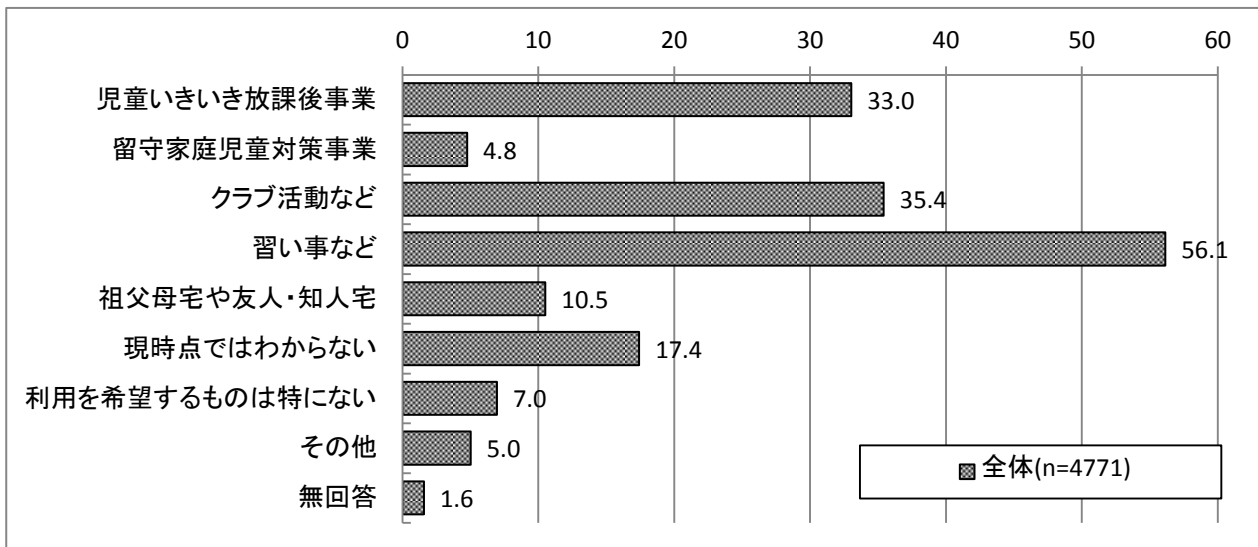
- ・「特になし」（44.7%）を除けば、「習い事（英語や習字など）」が19.6%で最も多く、次に「おやつなど補食の提供」が17.6%、「夕方の利用時間を延長する」が12.9%、「指導内容を工夫する」（12.3%）の順に続いている。
- ・朝の利用時間の希望する延長時間では「8時～」が64.4%、「7時～」が19.2%の割合を占めている。また、利用時間の延長に対して妥当と思われる金額を尋ねた回答として、「～1000円」が44.2%と最も多く、次いで「～2000円」で8.2%であった。
- ・夕方の利用時間の希望する延長時間では「～19時」が70.3%、「～20時」が20.7%の割合を占めている。また、利用時間の延長に対して妥当と思われる金額を尋ねた回答として、「～1000円」が41.3%と最も多く、次いで「～2000円」で11.0%であった。
- ・「習い事（英語や習字など）」の対価についての回答では「～1000円」が29.2%で最も多く、次に「～3000円」が22.4%、「～2000円」が13.4%、「～5000円」（9.5%）の順に続いている。
- ・おやつなど補食の提供に対して妥当と思われる金額の対価についての回答では「～100円」が67.1%で最も多く、次に「～200円」が9.6%、「～500円」が4.4%、「～300円」（3.9%）の順となっている。
- ・放課後の居場所を提供する事業への希望



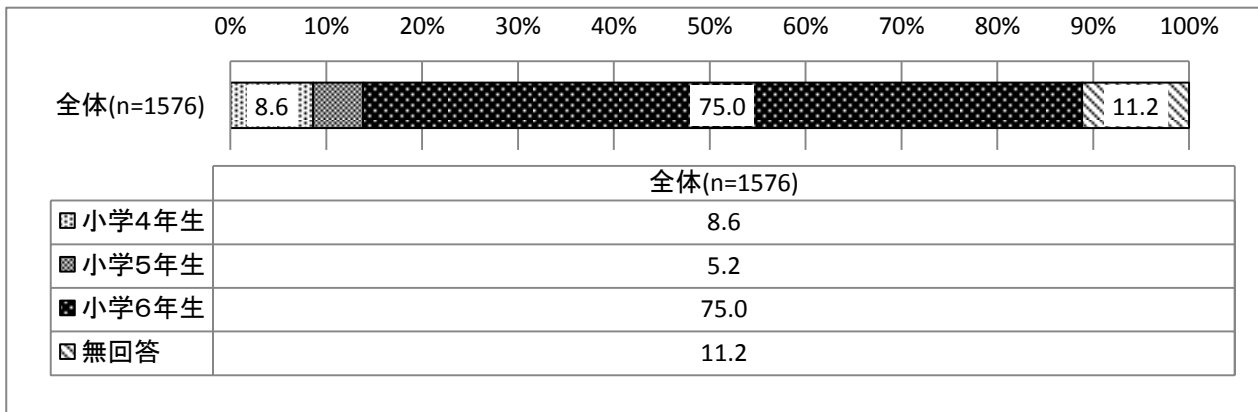
問15 すべての方におうかがいします。

あて名のお子さんについて、小学4年生以降の放課後の過ごし方に、どのようなことを望みますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

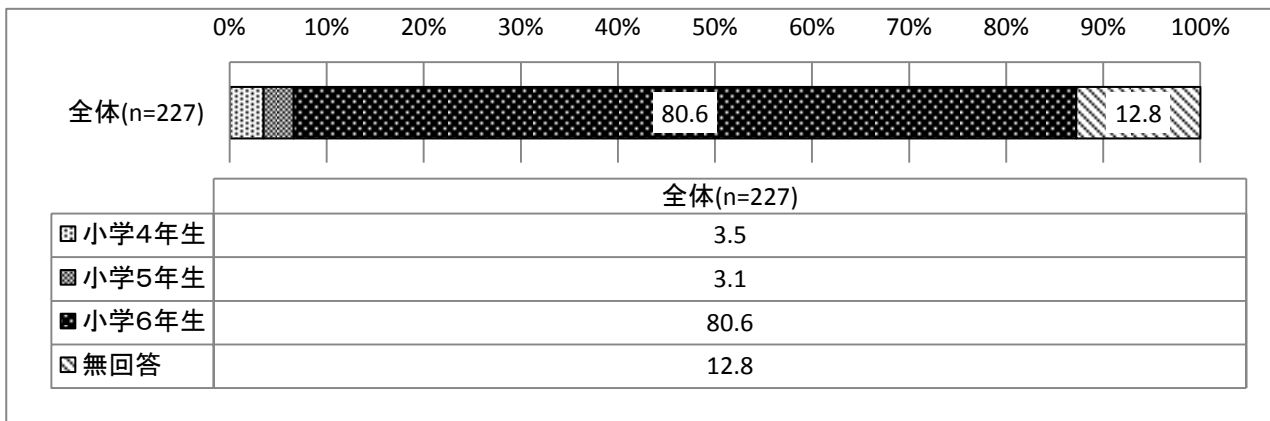
- ・「習い事など」が56.1%と最も多く、これに次いで「クラブ活動など」が35.4%、「児童いきいき放課後事業」が33.0%で続いている。
- ・「児童いきいき放課後事業」、「留守家庭児童対策事業」と答えた家庭に利用したい学年を尋ねたところ、いずれも6年生との回答が多くを占めている。
- ・放課後の過ごし方



・児童いきいき放課後事業で何年生まで利用希望



・留守家庭児童対策事業で何年生まで利用希望

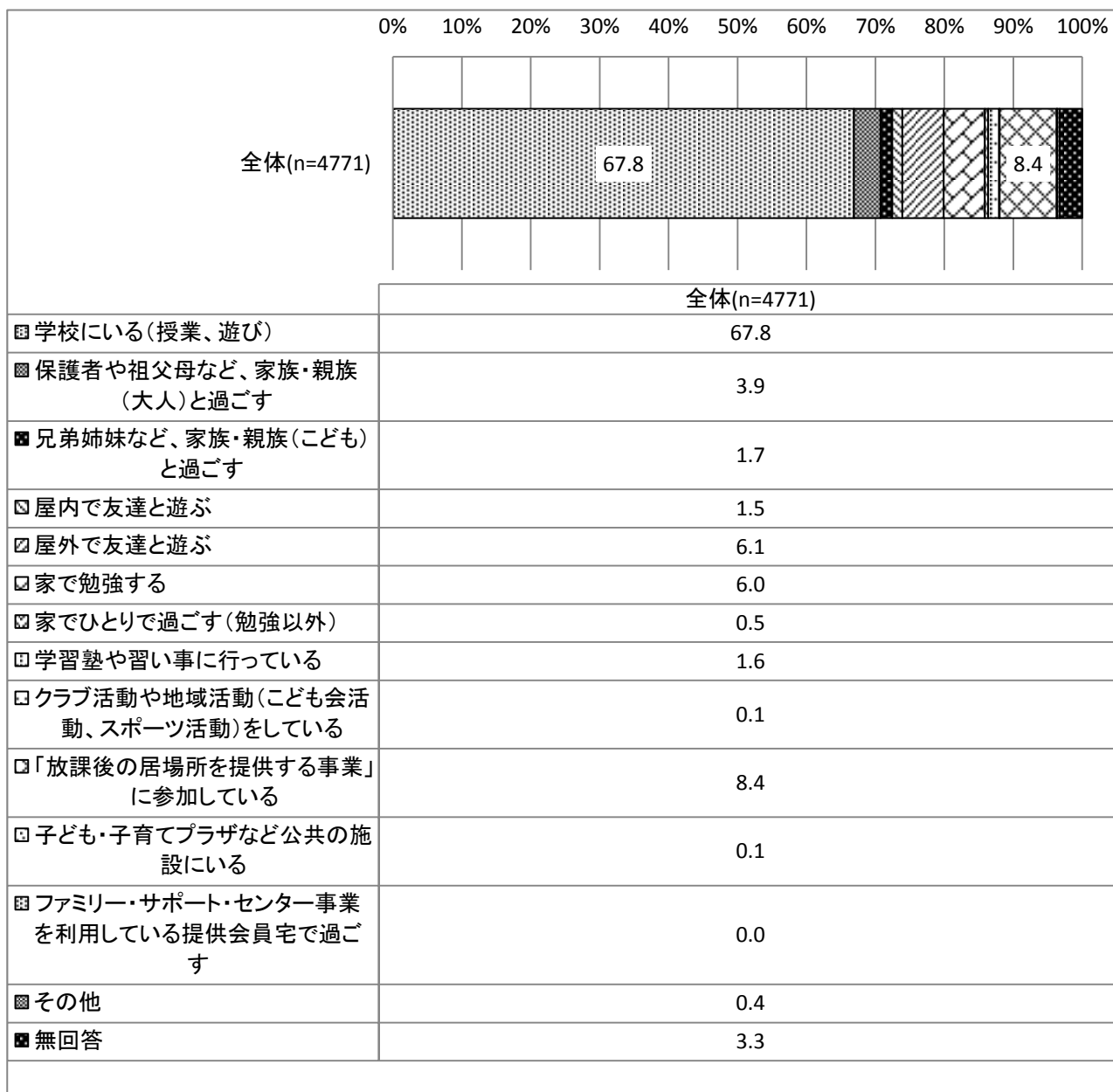


6. すべての方に、子どもが心身ともに健やかに成長するための取組についておうかがいします

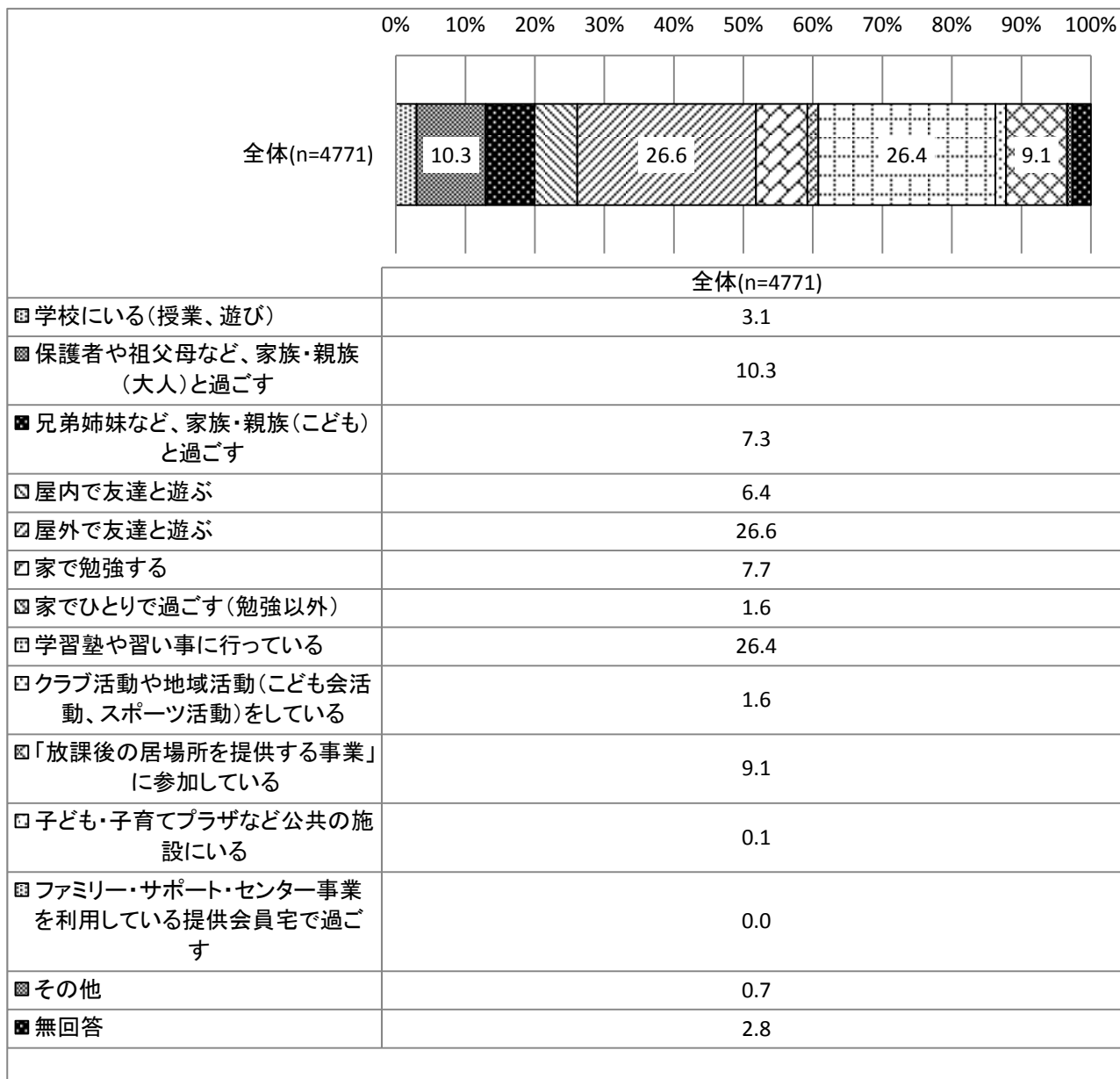
問19 平日の放課後および休日の日常なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、平日は時間帯ごとにあてはまるものを選択肢1～13からそれぞれ1つずつ、休日は3つ選んで、次の表に番号をご記入ください。

・平日については、14～16時については「学校にいる8授業、遊び」(67.8%)、16～18時については「学習塾や習い事に行っている」(26.4%)、「屋外で友達と遊ぶ」(26.6%)、18時以降については「保護者や祖父母など、家族・親族(大人)と過ごす」や「兄弟姉妹など、家族・親族(子ども)と過ごす」との回答が多くを占めている。

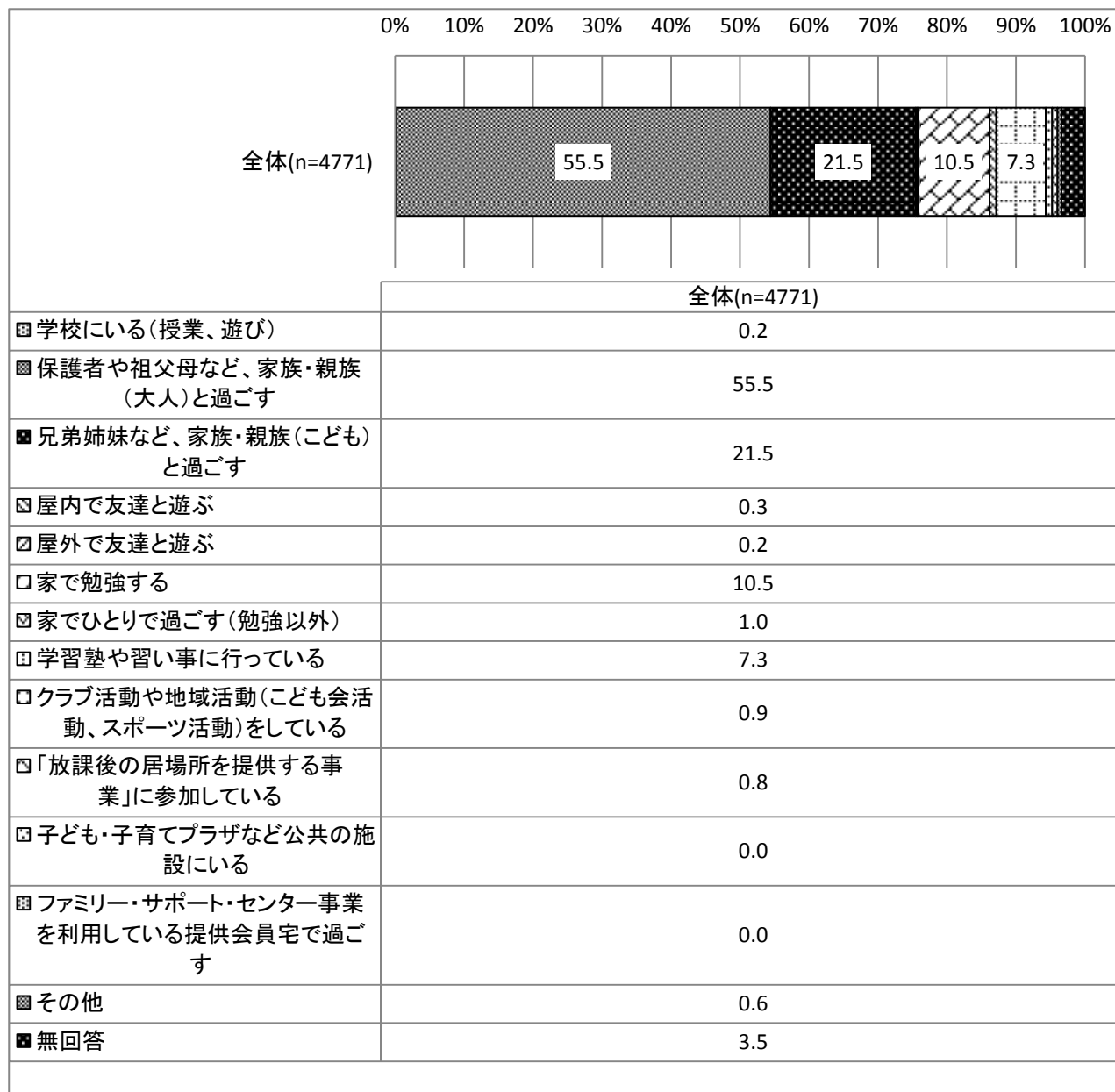
・平日の14～16時のこどもの過ごし方で一番多いもの



・平日の16～18時のこどもの過ごし方で一番多いもの



・平日の18～20時のこどもの過ごし方で一番多いもの



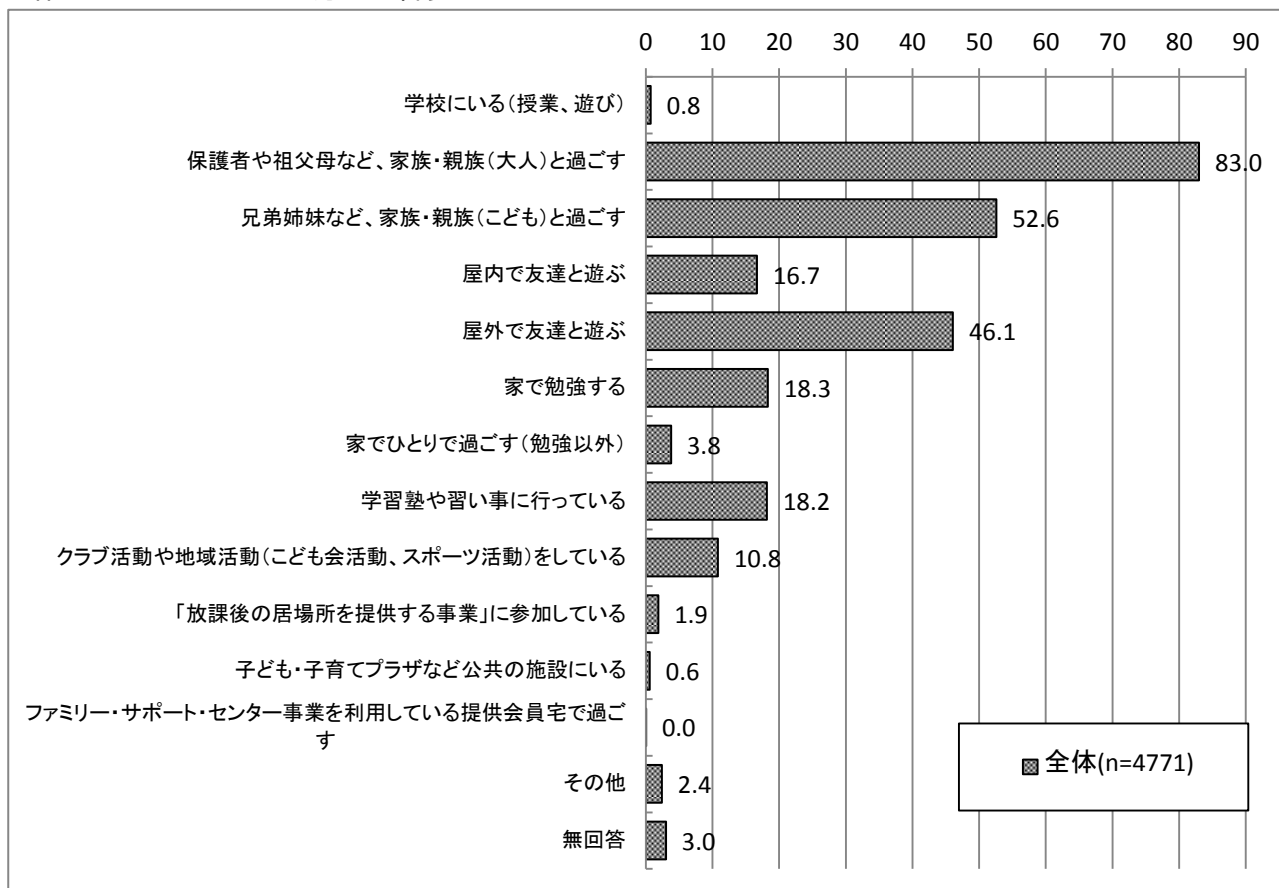
・平日の20時以降のこどもの過ごし方で一番多いもの



問19 休日のこどもの過ごし方で一番多いもの

・休日の過ごし方で多いものを見ると、「保護者や祖父母など、家族・親族（大人）と過ごす」（83.0%）、「兄弟姉妹など、家族・親族（子ども）と過ごす」52.6%について、「屋外で友達と遊ぶ」が46.1%で半数近くを占めている。これに「家で勉強する」が18.3%、「学習塾や習い事に行っている」が18.2%、「屋内で友達と遊ぶ」が16.7%、「クラブ活動や地域活動（子ども会活動、スポーツ活動）をしている」が10.8%などで続いている。

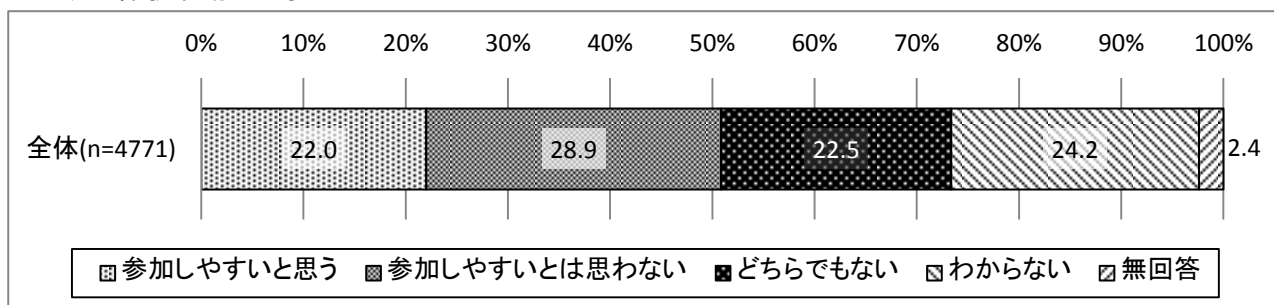
・休日のこどもの過ごし方で一番多いもの



問20 地域の環境が、子どもにとって自然、社会、文化などの体験活動に参加しやすい環境であると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

・全体の回答数4,771件のうち、「参加しやすいとは思わない」との回答が28.9%（1,378件）で、「参加しやすいと思う」の22.0%（1,051件）を上回っている。

・地域の体験活動への参加について

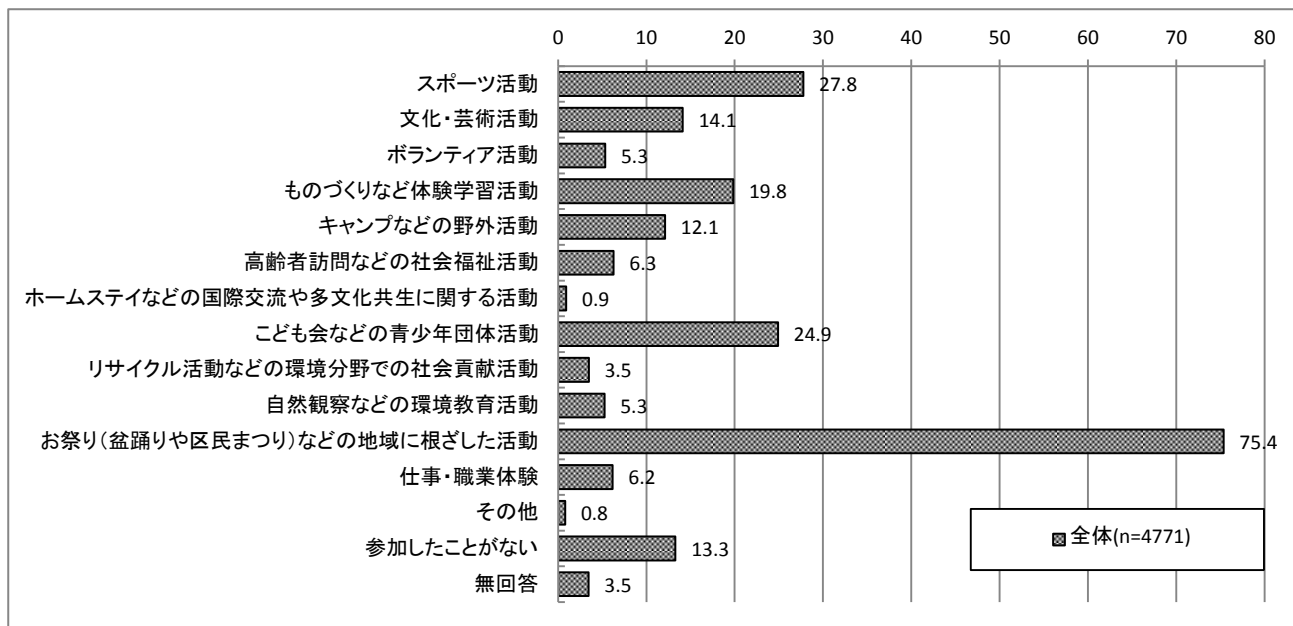


問2-1 すべての方におうかがいします。

あて名のお子さんは地域のグループ活動やイベントなどに参加されたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

また、今後参加させたいと思っている地域のグループ活動やイベントの種類は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

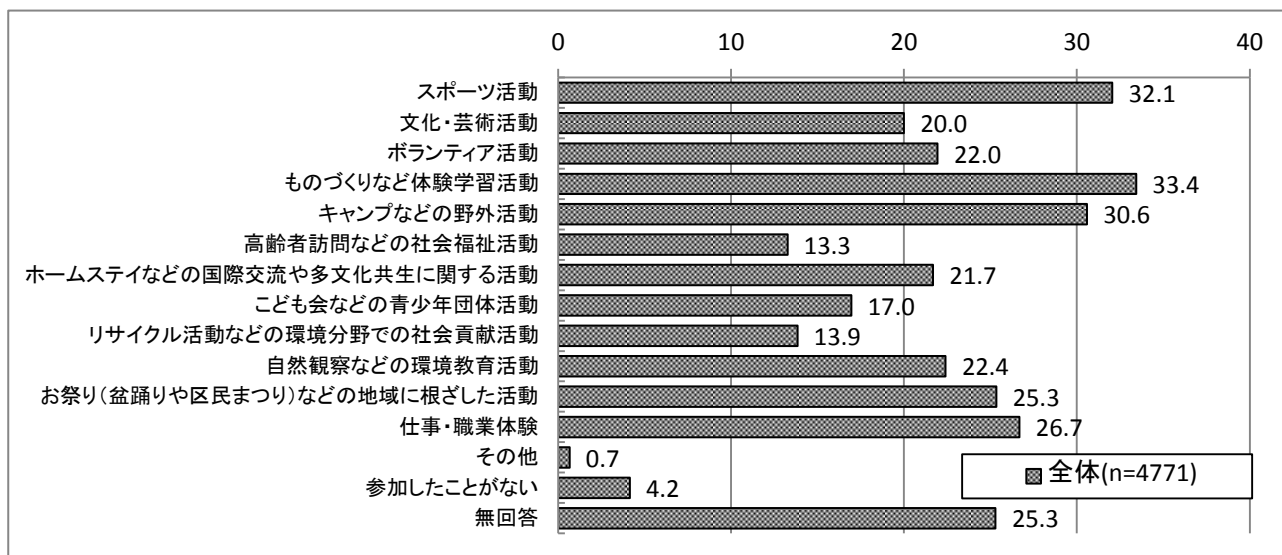
- ・参加経験の多い活動では、「お祭り（盆踊りや区民まつり）などの地域に根ざした活動」が75.4%と圧倒的多数を占めるほか、「スポーツ活動」（27.8%）、「子ども会などの青少年団体活動」（24.9%）、「ものづくりなど体験学習活動」（19.8%）などの順となっている。
- ・あて名のこどもの年齢別には、おおむね年齢が高くなるほど各種活動への参加経験が増える傾向にある。
- ・地域のグループ活動やイベントへの参加経験



問2-1 今後参加させたい地域のグループ活動やイベント

- ・「ものづくりなど体験学習活動」が33.4%で最も多く、次いで「スポーツ活動」（32.1%）、「キャンプなどの野外活動」（30.6%）で続いている。また、「仕事・職業体験」（26.7%）、「お祭り（盆踊りや区民まつり）などの地域に根ざした活動」（25.3%）、「自然観察などの環境教育活動」（22.4%）、「ボランティア活動」（22.0%）、「ホームステイなどの国際交流や多文化共生に関する活動」（21.7%）などもそれぞれ20%を超えている。

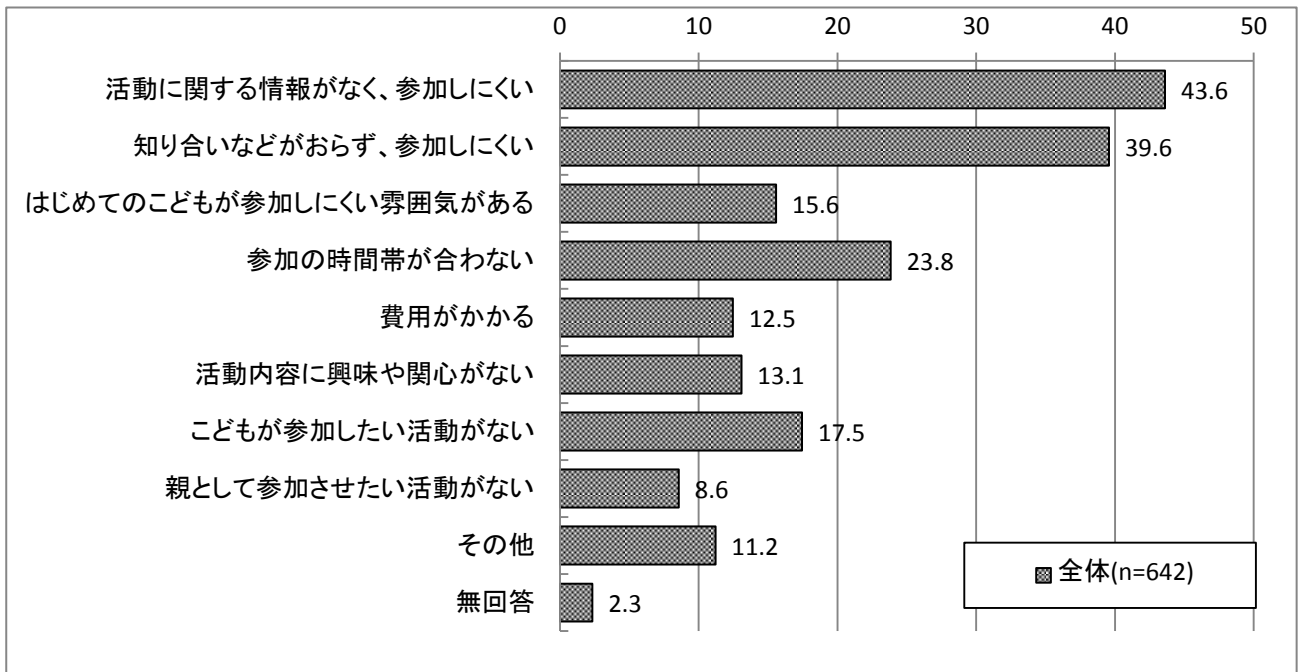
- ・今後参加させたい地域のグループ活動やイベント



問2 1-1 問2 1で「1 4. 参加したことがない」を選ばれた方におうかがいします。
 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

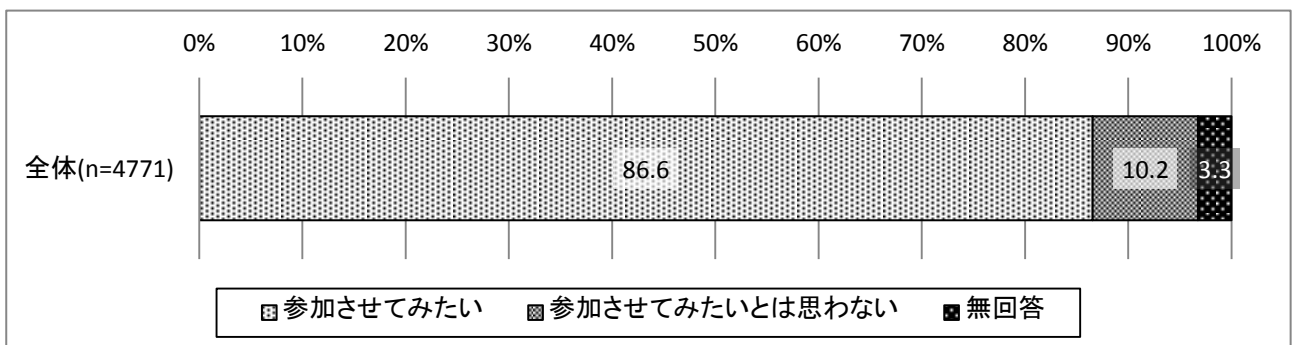
- ・地域のグループ活動やイベントなどに参加した経験がない家庭にその理由を尋ねたところ、「活動に関する情報がなく、参加しにくい」が43.6%、「知り合いなどがおらず、参加しにくい」が39.6%と、約4割となっている。

・地域のグループ活動やイベント参加していない理由



問2 2 大阪市では、子どもたちのあこがれの人物や、作品などに接する機会、興味や関心のあることに触れる機会などを通じて、さまざまな分野で、子どもたちの個性や創造性をはぐむ体験機会を提供する事業を実施しています。このような事業に、お子さんを参加させたいと思いますか。あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

- ・全体の回答数4,771件のうち、「参加させたい」が86.6%（4,130件）で「参加させたいとは思わない」の10.2%（487件）を大きく上回っている。

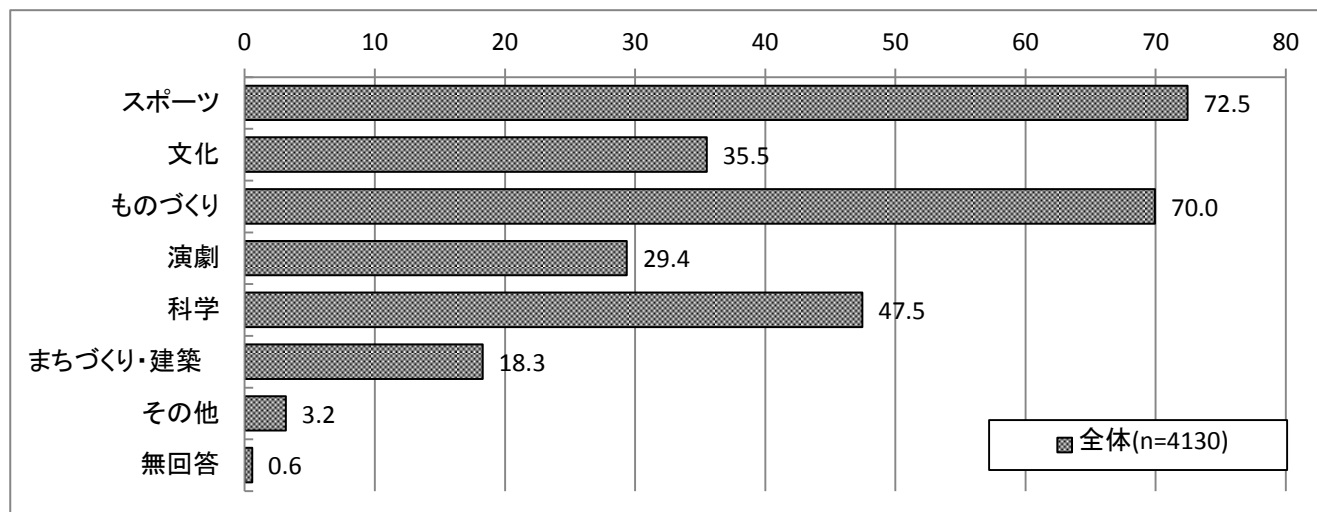


問22-1 問22で「1」を選んだ方におうかがいします。

どのような分野の体験活動に参加させてみたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

・「スポーツ」(72.5%)と「ものづくり」(70.0%)がともに7割を超えて多い。また、これに次いで、「科学」が47.5%、「文化」が35.5%、「演劇」が29.4%、「まちづくり・建築」が18.3%などの順となっている。

・今後参加させてみたい体験活動

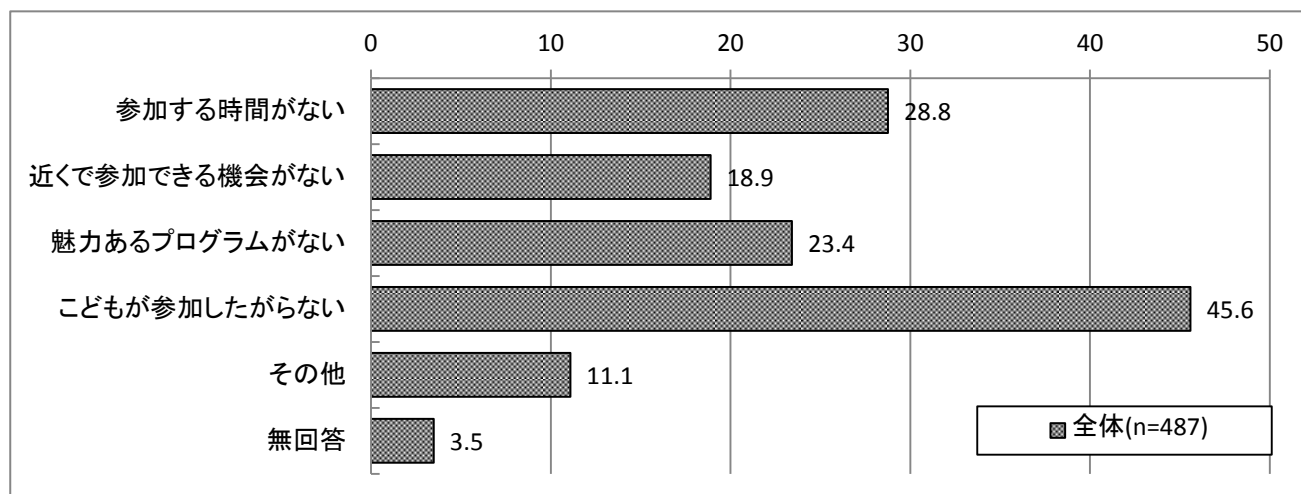


問22-2 問22で「2」を選んだ方におうかがいします。

参加させたいと思わない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

・体験活動に参加させたくないという家庭にその理由を尋ねたところ、「子どもが参加したがない」が45.6%で最も多く、次いで「参加する時間がない」(28.8%)、「魅力あるプログラムがない」(23.4%)、「近くで参加できる機会がない」(18.9%)の順となっている。

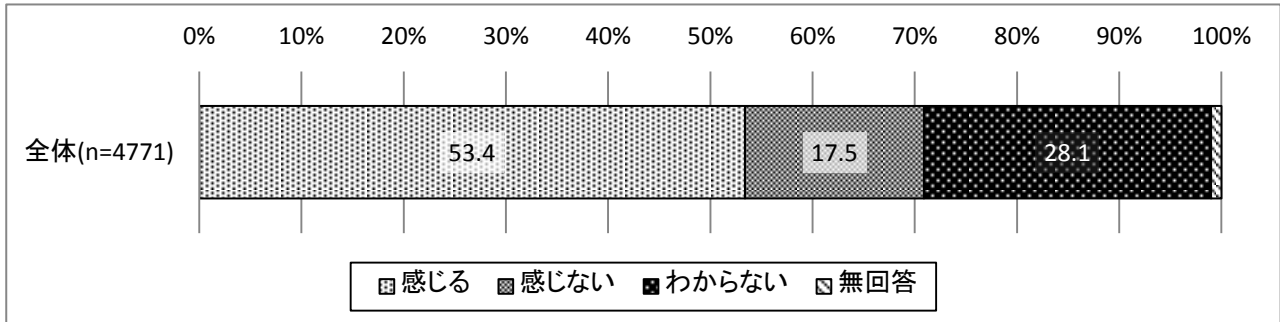
・体験活動に参加させたいと思わない理由



7. すべての方に、こどもの安全確保についておうかがいします

問24 お住まいの地域で、こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- ・事故や犯罪の増加についてそのように「感じる」との回答が53.4%を占めている。
- ・こどもが巻き込まれる事故や犯罪の増加について

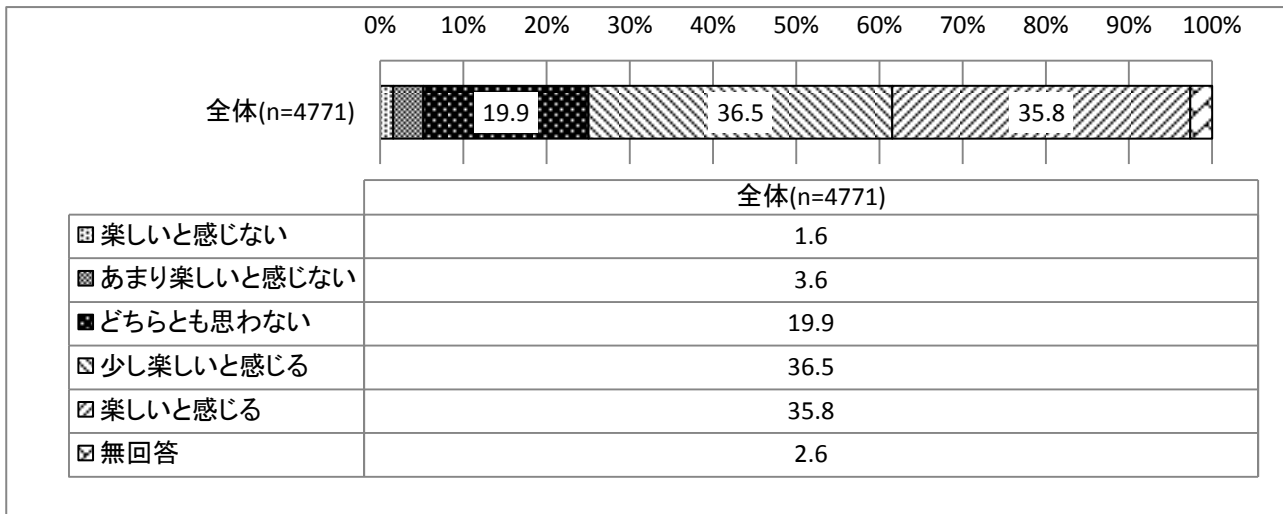


8. すべての方に、子育て全般についておうかがいします

問25 あなたは、子育てについてどのように感じていますか。それぞれあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

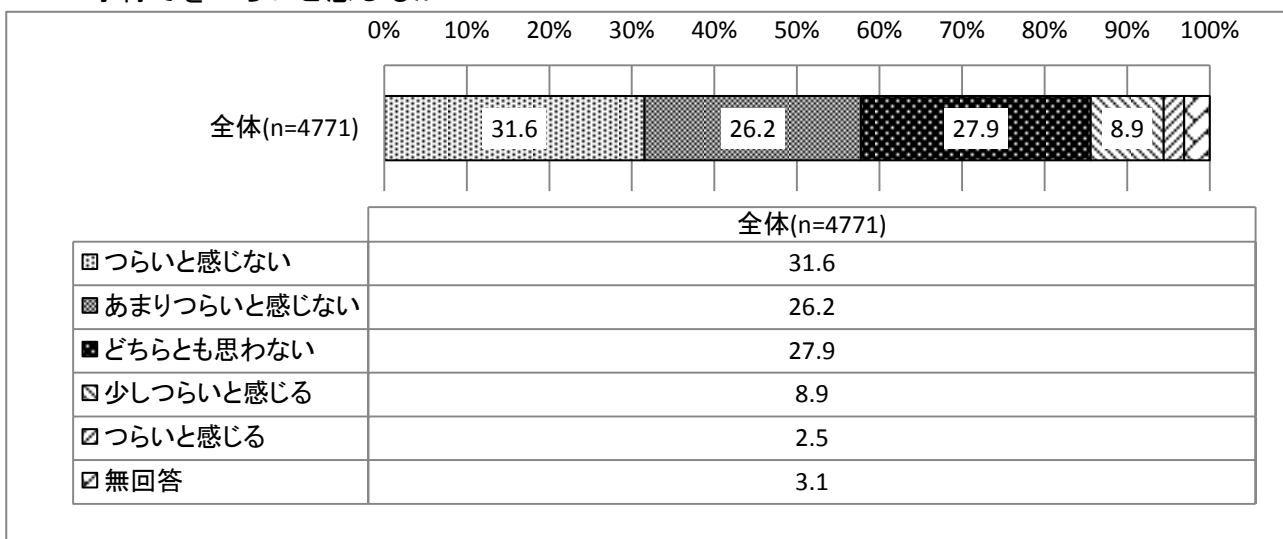
A 子育てを楽しんでいると感じますか？

- ・子育てについて「楽しいと感じることの方が多い」（35.8%）と「楽しいと感じることの方が少し多い」（36.5%）を合わせると7割以上の方が子育てを楽しんでいる。
- ・A 子育てを楽しんでいると感じるか



B 子育てをつらいと感じますか？

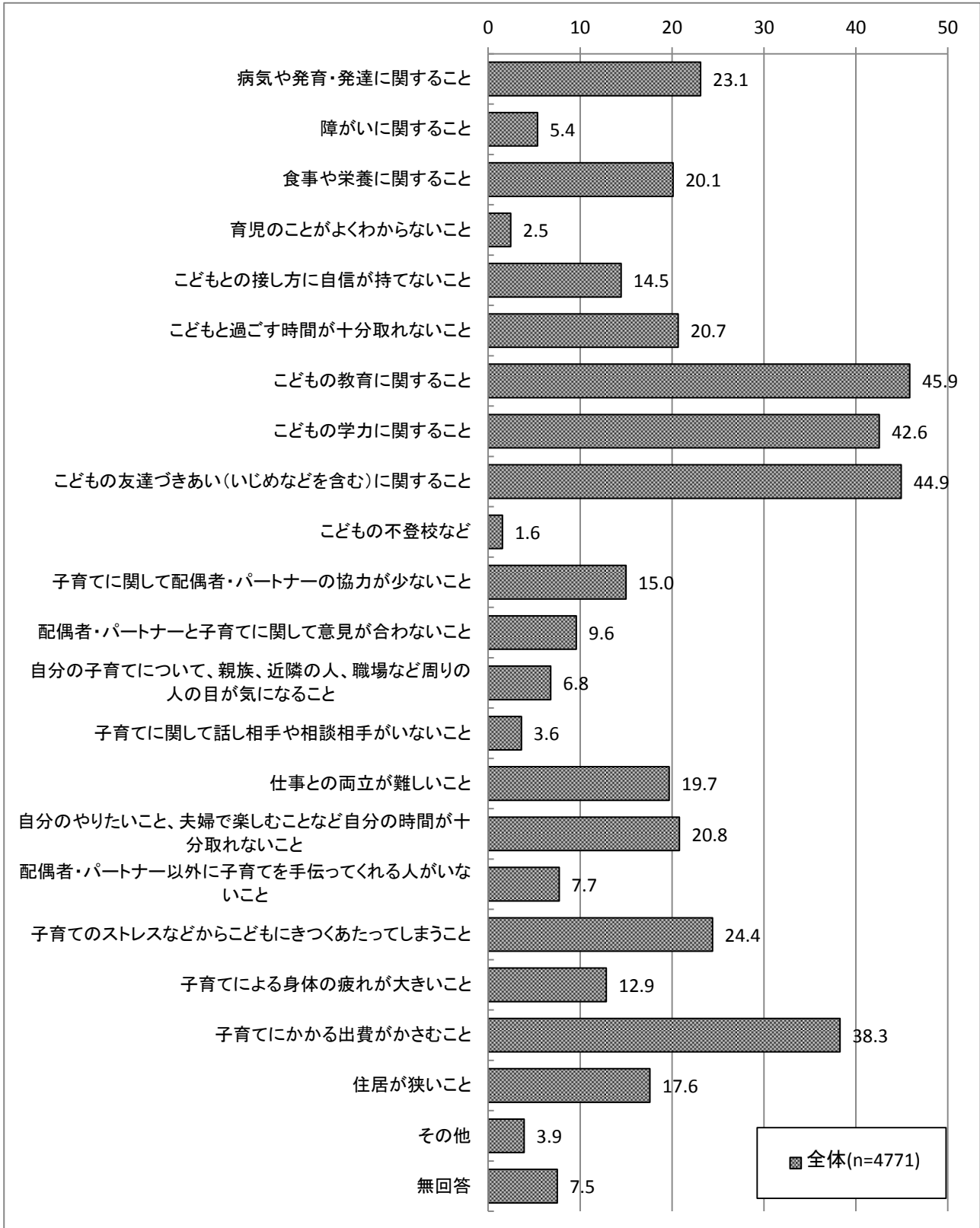
- ・子育てについて「つらいと感じないことの方が多い」（31.6%）と「つらいと感じないことの方が少し多い」（26.2%）を合わせると5割以上の方が子育てをつらいとは感じていない。
- ・B 子育てをつらいと感じるか



問26 あなたが日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

・「こどもの教育に関すること」が45.9%を占めて最も多く、「こどもの友達づきあい（いじめなどを含む）に関すること」（44.9%）、「こどもの学力に関すること」（42.6%）、「子育てにかかる出費がかさむこと」（38.3%）の3項目も4割近くある。

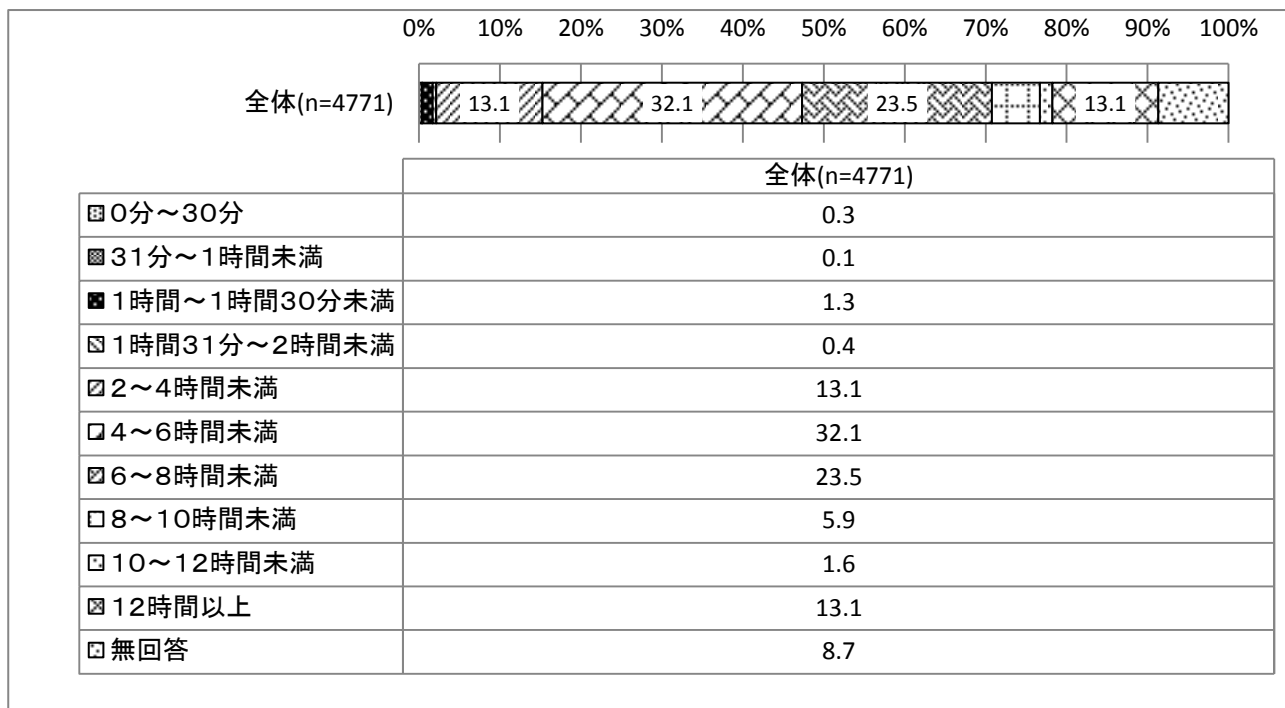
・ こども、保護者自身に関して日常悩んでいること



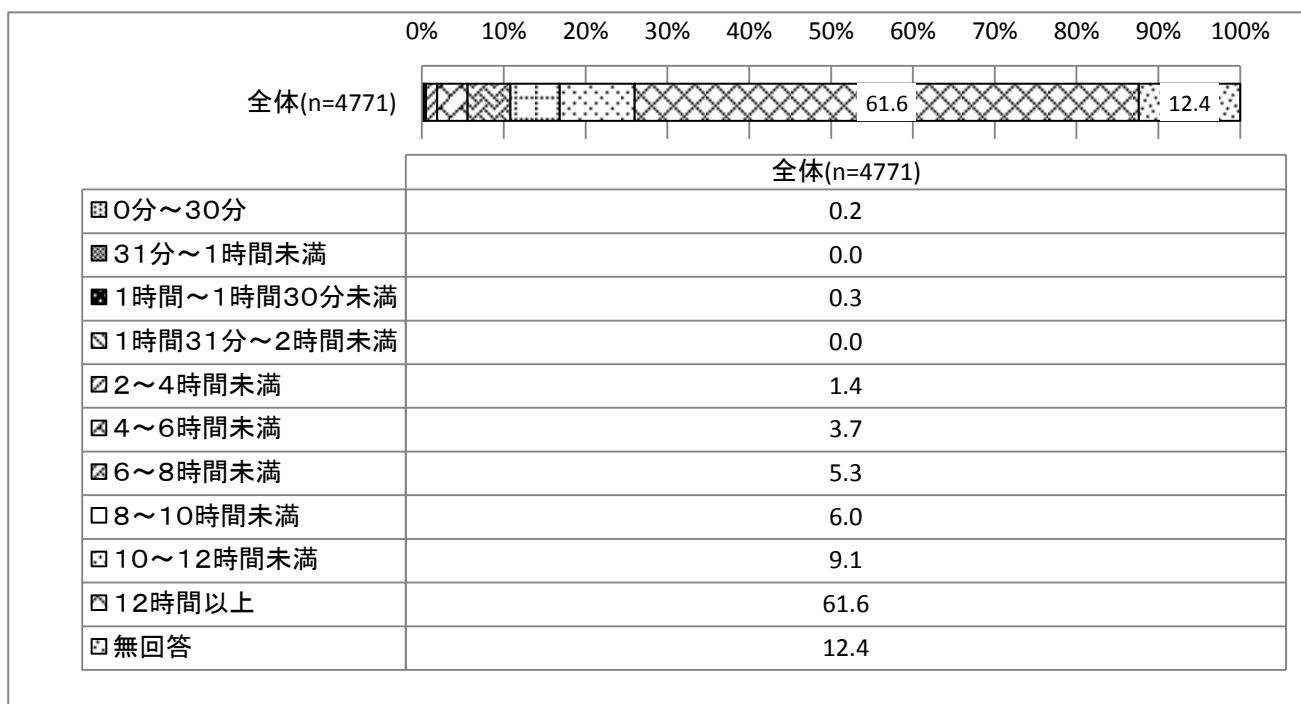
9. すべての方に、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についておうかがいします

問28 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

- ・母親が平日に子どもと一緒に過ごす時間を尋ねた回答では、「4～6時間未満」が32.1%で最も多く、次いで「6～8時間未満」（23.5%）、また、「2～4時間未満」と「12時間以上」はともに13.1%で同じ割合となっている。
- ・また、休日では「12時間以上」が61.6%と大部分を占めている。
- ・過不足感についての回答は平日では「まあまあ十分だと思う」（32.7%）と「十分だと思う」（30.6%）が多くを占めている。
- ・過不足感について休日では、「十分だと思う」が53.8%で過半数を占めている。
- ・①母親ア平日 子どもと一緒に過ごす時間

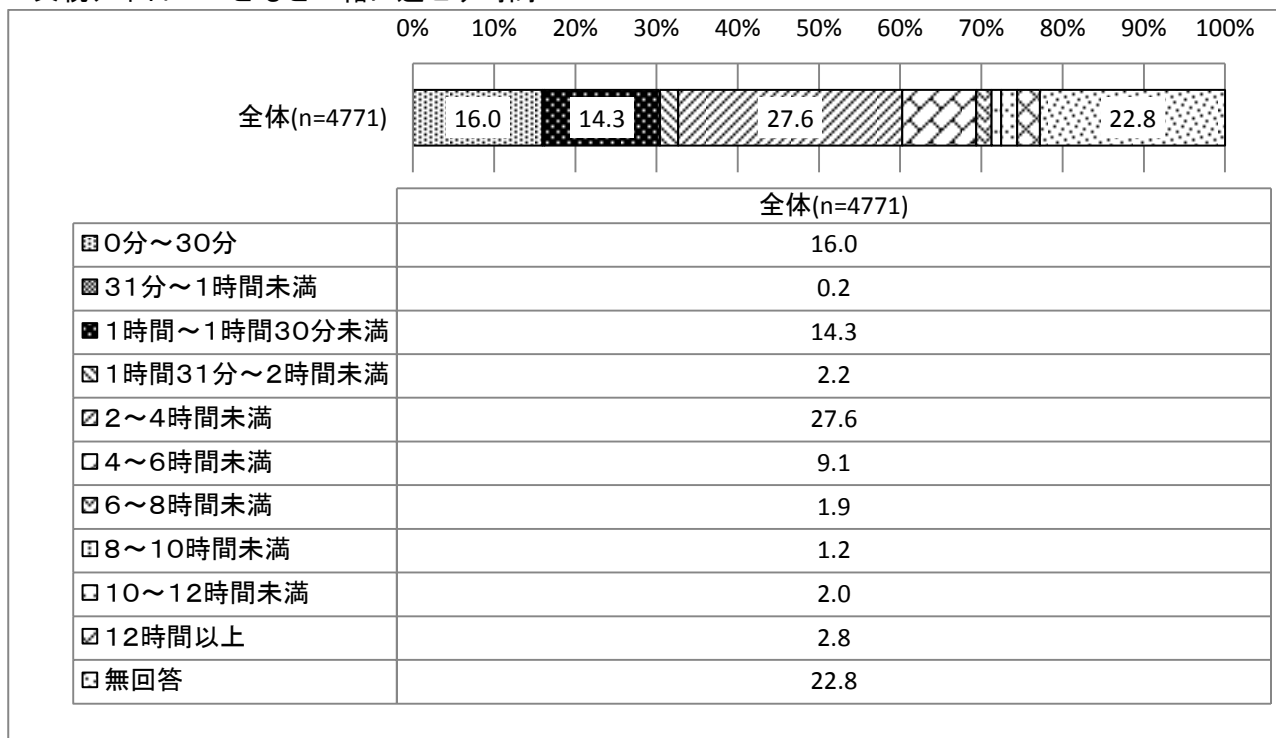


- ・①母親イ休日 子どもと一緒に過ごす時間



- ・父親が平日に子どもと一緒に過ごす時間を尋ねた回答では、「2～4時間未満」が27.6%で最も多く、次いで「0分～30分」が16.0%、「1時間～1時間30分未満」が14.3%、「4～6時間未満」が9.1%という割合になっている。
- ・また、休日では「12時間以上」が37.5%と最も多く、次いで「10～12時間未満」が8.0%、「4～6時間未満」が7.4%などで続いている。
- ・過不足感についての回答は平日では「不十分だと思う」が23.0%で最も多く、「まあまあ十分だと思う」(20.5%)、「あまり十分だと思わない」が20.1%で続いている。
- ・過不足感について休日では、「十分だと思う」が32.4%、「まあまあ十分だと思う」が22.0%で合わせて過半数を占めている。

・父親ア平日 子どもと一緒に過ごす時間



・②父親イ休日 子どもと一緒に過ごす時間

